(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 1/6

平成29年5月1日現在

| | 減災のため <i>0</i> (概ね5: | 年間) | 貝日 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象 | 台 | 富山市 | | 立山町 | | 舟橋村 | |
|-----|---|---------------|------------------------------|---|---|--|--|--------|----|--|--------------------------------|---|--------------------------------------|---|--|
| | カテゴリ | 課題 の 対応 | 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 |
| | 対策の主な取組 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 洪フ | 水を河川内で安全に流 | す対策 | T | オルナ河川市マウムに法士 | コルセセ | 1 | | | | 1 | | T | | 1 | 1 |
| | | | ・洪水を安全に流すため及び危機管理型の | ・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 | 実施 | | | | | | | | | | |
| | ·侵食·洗掘対策 ·浸透対策 | U,T,V | ハード対策の推進 | 常願寺川:1.2km実施済み。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | |
| | ・パイピング対策 | | 防災拠点等整備の検 | ・防災拠点等の整備を検討す る。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | |
| | | | 討 | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | |
| 包核 | 機管理型ハード対策 | | l | 1 | | 1 | | | | • | l | 1 | 1 | | 1 |
| | ・堤防天端の保護 | V | ・越水が発生した場合の危機管理型ハード | ・越水が発生した場合でも決 壊までの時間を少しでも引き 延ばす危機管理型ハード対 策を推進する。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | |
| | ・堤防裏法尻の補強 | | 対策の推進 | 常願寺川:5.5km実施済み。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | |
| E f | fn . I用 <i>品</i> 7 / 同 `性 ` ` | + →レ17+ | │ └┴क़॓ 拙む┴क़ <i>に</i> 恣せ | - 7 甘般学の教歴 | | | | | | | | | | | |
| 可为 | 灿▪埋解促進、避難仃男 ──────────────────────────────────── | カ 、 バリ | 方活動、排水活動に資す | る基盤寺の登備 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 水防連絡会にて水防食庫 | 引き続き | ・水防パトロールにて水防 | 「引き続き」 | | T | ・水防倉庫の備蓄材など | H28年度 | ・情報を収集し、必要性を | H28年度 | ・情報を収集し、必要性を | H28年 |
| | | | | の備蓄材などの合同巡視を 実施 | 実施 | ・水防パトロールにて水防 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 | i 引き続き 実施 | | | ・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。 | H28年度 から検討 | ・情報を収集し、必要性を検討する。 | から検討 | 検討する。 | H28生 かられ |
| | ①新技術を活用した水 | | ・水防資材の確認・整 備 | の備蓄材などの合同巡視を | 実施 | 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 | 引き続き実施 | | | ・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。 ・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検に参加 【H28.5.23】立山土木管内河川施設点検に参加 | から検討 | 検討する。 | から検討引き続き | ・情報を収集し、必要性を 検討する。 情報収集中 | から村 |
| Ŋ | 〕新技術を活用した水 方資機材の検討及び 记備 | O,P | ・水防資材の確認・整 備 | の備蓄材などの合同巡視を 実施 | 実施 引き続き 実施 H28年度 | 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 【H28.6.8】合同巡視時に 実施 【H28.5.25】富山土木管内 河川施設点検 【H28.5.23】立山土木管内 | 実施引き続き実施 | | | をパトロールにて確認する。 ・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検に参加 【H28.5.23】立山土木管内河川施設点検に参加 | から検討 引き続き 実施 H28年度 | 検討する。 常願寺川右岸水防市町村組合定例会において同組合所有資材内容報告 | から検討 引き続き 実施 H28年度 | 検討する。 情報収集中 | から核引き続実施 |
| Ŋ | 方資機材の検討及び | | ・水防資材の確認・整備・新技術を活用した資機材等の整備 | の備蓄材などの合同巡視を 実施 【H28.6.8】合同巡視時に実施 ・新技術(水のう等)を活用し | 実施 引き続き 実施 H28年度討 | 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 【H28.6.8】合同巡視時に 実施 【H28.5.25】富山土木管内 河川施設点検 【H28.5.23】立山土木管内 河川施設点検 ・水防パトロールにて水防 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 | 実施・続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | をパトロールにて確認する。 ・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検に参加 【H28.5.23】立山土木管内河川施設点検に参加 ・新技術を活用した資機材について先進事例など | から検討 引き続き 実施 H28年度 | 検討する。 常願寺川右岸水防市町村組合定例会において同組合所有資材内容報告 ・情報を収集し、必要性を検討する。 | から検討 引き続き 実施 H28年度討 | 検討する。 情報収集中 ・情報を収集し、必要性を | から ^札 引き 実施 H28年 から ^札 |
| 防西 | 方資機材の検討及び | | ・新技術を活用した資 | の備蓄材などの合同巡視を 実施 【H28.6.8】合同巡視時に実施 ・新技術(水のう等)を活用し た資機材等の配備 | 実施 引き続き H28年 H28年 H28年 H28年 B | 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 【H28.6.8】合同巡視時に 実施 【H28.5.25】富山土木管内 河川施設点検 【H28.5.23】立山土木管内 河川施設点検 ・水防パトロールにて水防 倉庫の備蓄材などの合同 巡視を実施 【H28.6.8】合同巡視時に 実施 【H28.5.25】富山土木管内 河川施設点検 【H28.5.23】立山土木管内 河川施設点検 【H28.5.23】立山土木管内 | 実施・続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | をパトロールにて確認する。 ・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検に参加 【H28.5.23】立山土木管内河川施設点検に参加 ・新技術を活用した資機材について先進事例などを情報収集に努める。 | から検討 引き続き H28年検討 引き続き | 検討する。 常願寺川右岸水防市町村組合定例会において同組合所有資材内容報告 ・情報を収集し、必要性を検討する。 | から検討 引き続 H28 年検 から検 別き続き | 検討する。 情報収集中 ・情報を収集し、必要性を 検討する。 情報収集中 | から 引き 実施 H28年 |

(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 2/6

| 減災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象 | | 富山市 | | 立山町 | | 舟橋村 | |
|--|---|-------------------|--|---------------------|---|------------|---|--------------|--|--------------|--|--------------|
| ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水 | ・ を理解するための周知・理解促進の取組 | 組 | | | | | | | | | | |
| ■平時から住民等への周知・教育・訓練に関す | | <u></u> | | | | | | | | | | |
| | ・常願寺川の水害の歴史・洪川水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布 | | ・常願寺川の水害の歴 史・洪水特性の周知、促 進理解のための副教材 の作成・配布に協力す る。 | 順次実施 | | | ・作成された副教材の配 布に協力し、住民への周 知に努める。 | 順次実施 | ・配布に協力する。 | 順次実施 | ・配布に協力する。 | 順次実施 |
| 副教材の作成・配布 | | 引き続き 実施 | •検討中 | 引き続き 実施 | | | 副教材が作成された際に 実施する | | H19作成の浸水ハザード マップの内容を一部修正 し再度配布(H28.7) | 順次実施 | 今後実施 | 順次実施 |
| | | 引き続き 実施 | ・出前講座等を活用した 啓発を積極的に行ってい く。 | 引き続き 実施 | 自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避 難や訓練など支援 | 引き続き 実施 | ・小・中学校から要望が あった場合、ハザードマッ プの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座 を実施している。 | 実施 | ・水辺の楽校等川と触れ 合う機会に水害教育等の 実施を考えていく。 | | ・教育委員会、PTAとの 協議の実施 | 引き続き実施 |
| ②小中学校等における 水災害教育を実施 A ・出前講座 | ・【H28.12.9】富山工業高校生 に出前講座を実施 | 実施 | 説明会の実施 ・栃津川 【H28.6.21】立山北部小学校1年生ほか ・白岩川ダム 【H28.9.30】富山市立上条 小学校4年生 【H28.10.7】上市町立相ノ 木小学校4年生 | 引き続き実施 | ・【H28.6.8】富山県教育会 にて出前講座(気象全般) を実施 | | 継続して実施 | 引き続き実施 | 参加 | 引き続き実施 | 継続して実施 | 引き続き実施 |
| ②山荒井中午大江田 | ・市町村の要請により、出前 講座等を積極的に行ってい く。 | 引き続き 実施 | ・出前講座等を活用した 啓発を積極的に行ってい く。 | 引き続き 実施 | | | | 実施 | ・防災に関する出前講座 の依頼がある場合、防災 アドバイザーと協力してハ ザードマップ等について 説明する。 | 実施 | ·広報、HP等 | 別き続き実施 |
| ③出前講座等を活用 し、水防災等に関する A ・出前講座 説明会を開催 | 等の活用 ・【H28.6.22】常願寺川右岸水 所市町村組合議会議員研修にて講座を実施・【28.9.25】町村自治会にて出前講座を実施 | 実施 | 説明会の実施 ・栃津川 【H28.11.6】栃津川を愛する会(災害について) ・白岩川ダム 【H28.8.25】立山町谷口地区町内会 | 引き続き実施 | | | 継続して実施 | 引き続き実施 | H29.9常願寺川に関する 防災シンポジウムの開催 を決定 | 引き続き実施 | 継続して実施 | 引き続き実施 |
| ④効果的な「水防災意 識社会」の再構築に役 ホの内部となれた H の再構築に | | から実施 | | | 関係機関と連携して効果的な対応に協力 | 順次実施 | ・記事を作成し、市の広報 誌掲載し、市民に配布し ている。さらに、ハザード マップを作成し配布する ほか、HPに掲載する。 | 実施 | ・国や県が作成する「水防 災意識社会」の再構築に 役立つ広報や資料を配布 | | ·広報、HP等 | 順次実施 |
| 立つ広報や資料を作り、おおいでは、一切の情報には、一般でである。 おいま おいま おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は | ·作成·配布 · _{検討中} | 引き続き 実施 | •検討中 | 引き続き 実施 | 要配慮者利用施設管理 者への資料作成、説明 【H29.2~4】 | 順次実施 | 洪水情報のプッシュ型配信など、市の広報やHPを通じて市民の意識向上に努めた。 | 引き続き 実施 | 未実施 | 順次実施 | 継続して実施 | 引き続き 実施 |
| ⑤自治会や地域住民 が参加した洪水に対す 。・重要水防 | 検を実施が | から順 次、 毎年実施 | 点検の実施 | H28年度 以降検討 | | | | 実施 | 点検に参画する。 | 実施 | ・自治会との共同点検の 実施を検討 | 順次毎年 実施 |
| るリスクの高い箇所の 共同点検の実施 | 国 | 引き続き 実施 | 【H28.6.8】沿川市町、沿川 自治会と共同で重要水防 箇所等の点検を行った。 | 別き続き実施 | | | 重要水防箇所等の共同点検に参加 | 順次毎年 実施 | 共同点検に参加 | 順次毎年 実施 | 継続して実施 | 引き続き実施 |
| ⑥まるごとまちごとハ D,F ・まるごとま | ・市町村が作成するまるごと まちごとハザードマップへの情報提供 プへの情報 | 順次実施 | 礎資料となる浸水想定区 | H28年度 から順次 実施 | | | ・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。 | | ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 | | ・まるごとまちごとハザー ドマップの整備を検討 ・ハザードマップの更新の 際に検討 | 順次実施 |
| ザードマップを整備 I 提供 | •検討中 - | 引き続き 実施 | ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を 作成中 | | | | 今後検討 | 必要があ れば検討 | | 必要があ れば検討 | 今後検討 | 必要があ れば検討 |

(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 3/6

| 減災のため <i>0</i> (概ね5: | | 項目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象 | 台 | 富山市 | | 立山町 | | 舟橋村 | |
|--|------------|---|--|---------------|--|------------|--|------------|--|--------------|---|-------------|---------------------------|------------|
| ⑦住民の防災意識を 高め、地域の防災力の 向上を図るための自主 防災組織の充実 | К | ・自助・共助の促進の ための普及啓発。自 主防災組織の資機材 整備や避難訓練等の | | | ・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援 | 実施 | | | ・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金 の交付 ・自主防災組織構成員が 防災士の資格を取得する ための補助金の交付 | | ・自主防災組織への訓練 補助金や資機材補助金 の交付 | 順次実施 | ·広報、HP等 | 順次実 |
| | | 支援 | | | 【H28年度】 自主防災組織の資機材 整備や避難訓練等の支 援を実施 | 引き続き 実施 | | | 継続して実施 | 引き続き 実施 | 実施 | 順次実施 | 継続して実施 | 引き続 実施 |
| ト対策の主な取組 ②迅道 | | | の取組 | | | | | | | | | | | |
| 情報伝達、避難計画等に | 関する | o事項 │ | ・川の防災情報システムの改 | 順次実施 | ・富山県総合防災システ | 引き続き | ┃・気象警報・注意報等を発 | 順次整備 | ・アナログ式防災行政無 | 順次整備 | ・緊急速報エリアメールに | 順次整備 | ・防災無線の活用 | 順次整 |
| ①リアルタイムの情報 提供やプッシュ型情報 の発信など防災情報 の充実 | G,H I,J | ・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 | 良及びスマートフォンを活用 した情報発信 ・ブッシュ型の洪水予報等の 情報発信 | No. O. S. III | はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいまは、 で関係機関等がリアルタ報子で関係機関等、書込み、情報子の連携によりは要ない。 で関等との連携によりは速いのでは、 でのでは、 は、報信では、 は、まれるでは、 は、これるでは、 は、これなななななななななななななななななななななななななななななななななななな | 検討 | 表し、現象では、注意製作で、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施 | NC O E IM | 線をデジタル式に再整備・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。 | NK OV. ZE IM | よる情報発信 ・Twitterによる情報発信 ・町HPによる緊急災害情報の発信 | NC O E IIII | | 成久正 |
| | | ik 3 37 ii 3 ik 20 ii | ・H29.5.1~の配信に向けて、 手続き中 | 引き続き実施 | 【H28.8.1】新たな富山県 総合防災システムの運用 開か。 ・河川情報システムの更 新作業中 | 引き続き実施 | ・【H29.3】「はん濫」→「氾 濫」へ情報文、伝文の変 更。 | 順次実施 | アナログ式防災行政無線 をデジタル式に再整備す るための調査を開始 | 引き続き 実施 | H28.7の大雨時に情報発信。H28.11町避難訓練時に情報発信。ケーブルテレビにおいてテロップを流す | 順次整備 | 継続して実施 | 引き続 実施 |
| ②避難勧告等の発令 に着目した防災行動計 画(タイムライン)の整 | С | ・出水後におけるタイ ムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位 | ・出水後におけるタイムラインの検証と改善・必要に応じて、水位情報等の提供など | 順次実施 | ・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供 | 順次実施 | ・富山河川国道事務所、 富山県及び関係市町村と 共同で整備・改善を支援 | 順次実施 | ・富山河川国道事務所、 富山県及び関係機関など と情報共有し、タイムラインの整備と周知に努める | 引き続き 実施 | ・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善 | | ・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善 | |
| 備及び検証と改善 | | 情報等の提供 | •検討中 | 引き続き 実施 | •検討中 | 引き続き 実施 | 関係機関の勉強会 (12/26) | 引き続き 実施 | 情報共有に努めた | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | 継続して実施 | 引き続: 実施 |
| ③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水 想定区域図、家屋倒 壊等氾濫想定区域の | | ・洪水浸水想定区域 図、家屋倒壊等氾濫 想定区域図の策定・ | ・常願寺川の洪水浸水想定 区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域 図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫 シミュレーションの公表 【H28.6.20】洪水浸水想定区 | H28年度 から実施 | | | | | | | | | | |
| 公表(浸水ナビ等による公表) | | 公表 | 域図の策定・公表済家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済。 | | | | | | | | | | | |

(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 4/6

| 減災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | 富山県 | 富山地方気象台 | 富山市 | 立山町 | 舟橋村 |
|---|---|--|--|---|--|------------------------------------|
| 対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行 | す動のための取組 (する) | | 1 | | | |
| 青報伝達、避難計画等に関する取組 | | | | | | |
| ④立ち退き避難が必要 な区域及び避難方法 F,K 及び家屋倒 の検討 F,K 及びをおおり | 迷続時間 壊危険区 | 奄 | | ・河川管理者などの関係 機関との協議を行い、立 ち退き避難が必要な区域 について避難方法の検討 を行い、避難計画の策定 に向けて準備を進める | ・集落が集落毎に1次集 合場所、2次集合場所等 を設定及び、垂直避難等 ルート策定の重要性を啓 発する。 | ・ハザードマップの更新時 H28年 に検討 から順 実施 |
| | 供 【H28.6.20】・浸水想定区域の 浸水深、浸水継続時間及び 家屋倒壊危険区域を公表済 | | | 今後実施 H29年度 以降実施 | H28町避難訓練において 引き続き 参加集落へ啓発。 実施 | 今後実施 H29年 以降実 |
| ⑤参加市町村による広 域避難計画の策定及 D,E ・作成に必要 提供及び策 | 実施を情報の | ・作成に必要な情報(浸水 H28年度 対 想定区域の浸水深、浸水 から順次 継続時間等)の提供 実施 | | ・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定するための準備を進める。 | ・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定する。 | ・地域防災計画の見直し 等 |
| び支援 | 検討中 引き続き 実施 | を 想定最大規模降雨による 引き続き 洪水浸水想定区域図を作 成中 | | 関係機関との協議を今後 実施 H29年度 以降実施 | 未実施 H29年度 以降実施 | 今後実施 H29年 以降す |
| ⑥広域的な避難計画 | | ・作成に必要な情報(浸水 H28年度 ・ 想定区域の浸水深、浸水 から順次 継続時間等)の提供 実施 | | ・洪水ハザードマップの修 正を行う。 区域の策 定を受け て策定 | し、全戸配布する。 から順次 | ・ハザードマップの更新を 検討 おら順 実施 |
| | ・作業中 引き続き 実施 | き 想定最大規模降雨による 引き続き 洪水浸水想定区域図を作 成中 | | | 今後実施 H29年度 以降実施 | 今後実施 以降到 |
| ⑦水位予測の検討及 ・水位予測の び特殊の内に B 上の検討・シ | | 5 | | | | |
| び精度の向上 日 上の検討・2 | ・検討中。システム改良済 引き続き 実施 | E. | | | | |
| ⑧防災気象情報の改・新しい防災を気象庁HF | | | ・「危険度を色分けした時 系列」と「警報級の可能 性」の提供 ・洪水警報の危険度分布 の提供 | | | |
| 吉 | | | ・「危険度を色分けした時 系列」と「警報級の可能 性」を、防災情報提供シス テムで試行提供中 | | | |

(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 5/6

| 減災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | 富山県 | 富山地方気象台 | 富山市 | 立山町 | 舟橋村 |
|--|--|--|---|--|--------------------------------------|--|
| ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び | 」 辟難時間の確保のための水防活動 | 等の取組 | | | | |
| ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 | | | | | | |
| ①水防団等への連絡・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県 | ・水防連絡会にて連絡体制 引き続きの確認を行い、県・市・町と共 毎年実施 同で情報伝達訓練を実施する。 | ・情報伝達訓練の実施 引き続き 毎年実施 | ・情報伝達訓練等への支 引き続き 接 毎年実施 | ・国・県と連携した、情報 引き続き 伝達訓練の実施 毎年実施 | | ・河川管理者が行う情報 引き続き 伝達訓練に参加する。 毎年実施 |
| 加した実践的な情報伝 達訓練の実施 本語の実施 が、ボーカー・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボー | 【H28.4.21】水防連絡会にて 確認 【H28.5.27】洪水対応演習を 実施 | [H28.4.21]水防連絡会に て確認 [H28.5.27]洪水対応演習 を実施 | [H28.4.21]水防連絡会に て確認 [H28.5.27]洪水対応演習 を実施 | [H28.4.21]水防連絡会に て確認 情報伝達訓練を実施 | H28.11町避難訓練時に 引き続き 情報伝達訓練を実施 毎年実施 | 継続して実施 引き続き 毎年実施 |
| ②自治体関係機関や 水防団が参加した洪水 に対するリスクの高い 箇所の合同巡視の実 L,M ・重要水防箇所の合 同巡視を実施 | 視を実施 度から毎年実施 | ・ 巡視を実施 毎年実施 | ・共同で参加し、重要危険 引き続き 箇所等把握に努め意識 共有を計りソフト面では早 めの避難行動、水防に役 立てる | で、水防団も参加し、国、 毎年実施 県と合同で毎年実施 | | ・河川管理者と水防関係 機関で重要水防箇所等 毎年実施の合同巡視を実施する。 |
| 施施 | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.8】合同巡視時に 引き続き 実施 毎年実施 | 【H28.6.2~3】合同巡視時 引き続き に実施 毎年実施 | 重要水防箇所等の共同 引き続き 点検に参加 実施 | H28実施 H28.6 | 継続して実施 引き続き 実施 |
| ③毎年、関係機関が連・水防管理団体が行う | ・水防管理団体が行う訓練へ の参加 ・水防工法講習会の支援等 を行う。 | ・県総合防災訓練等にお いて関係機関が連携した 水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓 練への参加 ・水防工法講習会の支援 等を行う。 | ・要請による訓練への支 弱き続き 毎年実施 | ・水防団、国、県、自主防 災組織などが参加し、出 水期前に水防法に基づく 水防訓練の実施 | ・出水期前に水防協議会 を実施する。 | ・防災訓練の計画を策定 毎年実施 を検討 |
| | 【H28.5.18】常願寺川右岸に おいて、水防工法研修会を実施 施 【H28.5.28】富山市主催の水 防訓練(場所:富山市磯部町 二丁目地先 神通川右岸 富 山大橋上流)へ参加 | | 要請のあった県、市町村 引き続き の防災訓練参加 毎年実施 | 【H28.5.18】常願寺川右岸 において、水防工法研修 会に参加 【H28.5.28】富山市主催の 水防訓練を実施(場所:富 山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上 流) | 実施 H28.6 | 継続して実施引き続き実施 |
| ④水防活動の担い手と なる水防団員・水防協 カ団体の募集・指定を N,P 進 | | | | | ・広報誌やホームページ で水防協力団体を募り、 募集を実施 | ・広報、HPでPRを実施 引き続き 実施 |
| 促進 | | | | 今後検討 H29年度 以降 | 未実施 H29年度 以降 | 今後検討 H29年度 以降 |
| ⑤国・県・自治体職員 よいけん まねのこれ | 実施 | ・水防技術講習会に参加 引き続き 実施 | | ・水防技術講習会に参加 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 引き続き 実施 |
| 等を対象に、水防技術 O 講習会を実施 ・水防技術講習会に参加 | H28年9,10,11月に水防技術 引き続き 基礎講座に参加。 実施 | 【H28年度】北陸地整整備 引き続き 局管内水防技術講習会 への参加 | | 継続して実施 引き続き 実施 | 消防団(水防団)に周知 引き続き 実施 | 継続して実施 引き続き 実施 |
| ⑥大規模災害時の復 | から検討 | ・検討に必要な情報(浸水 H28年度 想定区域の浸水深、浸水 から順次 継続時間等)の提供 実施 | | | | |
| 計画の検討を実施 配置計画の検討 | ・検討中 引き続き 実施 | ・想定最大規模降雨によ 引き続き る洪水浸水想定区域図を 作成中 | | | | |
| ⑦大規模水害を想定し・排水ポンプ車の適切 た常願寺川排水計画 R,S な配置計画などを検 | 配置計画などを検討 | 清に基づく出動可能箇所 実施 の検討 | | ・樋門、排水路等の情報 を踏まえ排水ポンプ車の 適切な配置計画などを検 討 | の選定から検討 | |
| (案)の検討を実施 討 | ・検討中 引き続き 実施 | ・検討中 引き続き 実施 | | ・河川管理者等関係機関 H29年度 との情報交換をもとに、適 切な配置を今後検討する | 未実施 H29年度 以降 | 今後検討 H29年度 以降 |

(様式1-取組一覧) 常願寺川取組状況確認様式 6/6

| 減災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | 富山県 | 富山地方気象台 | 富山市 | 立山町 | 舟橋村 |
|---|--|---|---------|---|---|------------------------------------|
| ⑧排水ポンプ車の出動 ・毎年、出水期前 | | ・連絡体制の確認 引き続き 毎年実施 | | ・出水期前に国・県など関 引き続き 係機関と連絡体制の情報 共有を図る。 | ・河川管理者と連携を図 引き続き り、連絡体制の整備を行 実施 い、毎年確認する。 | ・連絡体制の整備 引き続き 実施 |
| 要請の連絡体制等を 整備 整備 とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは | して理 情報 (H28.4.21)水防連絡会にて 引き続き 確認 (H28.5.27)洪水対応演習を 実施 | 【H28.4.21】水防連絡会に て確認 【H28.5.27】洪水対応演習 を実施 | | 【H28.4.21】水防連絡会に 引き続き て確認 実施 | 未実施 H29年度 以降 | 継続して実施 引き続き 実施 |
| ・実践的な操作詞 | | ・水防管理団体が行う水 防訓練等への参加 | | ・水防法に基づく水防訓 練の実施 引き続き 実施 | ・町総合防災訓練と合同 で実施を検討 | ・防災訓練と合同で実施 を検討 |
| ⑨関係機関が連携した 排水実働訓練の実施・水防管理団体が 水防訓練等への | 実施おいて、水防工法研修会を実実施が行う施 | 【H28.5.28】富山市主催の 水防訓練(場所:富山市 磯部町二丁目地先 神通 川右岸 富山大橋上流) へ参加 【H28年度】北陸地方整備 局管内水防技術講習会 への参加 | | 【H28.5.28】富山市主催の 水防訓練を実施(場所:富 山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上 流) | 未実施 H29年度 以降 | 継続して実施 引き続き 実施 |
| ■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の |)推進に関する取組 | | | | , | |
| ①要配慮者利用施設 ・要配慮者利用施 | ・要配慮者利用施設による避 引き続き 難確保計画等の作成を行お 実施 うとする際の技術的な助言を を設に 行う。 | ・作成に必要な情報(浸水 H28年度 想定区域の浸水深、浸水 から順次 継続時間等)の提供 実施 | | ・要配慮者利用施設に対 H29年度 する、技術的助言を行う。 から検討 | ・要配慮者利用施設に対 H28年度 する、技術的助言を行う。 から順次 実施 | |
| による避難確保計画の 作成に向けた支援を実 施 | <u> </u> 実施 | 【H29.2.22】要配慮者利用 引き続き 施設管理者説明会の市 実施 町村への事前説明会の 実施 【H29.4月】説明会の実施 予定 | | 今後検討 H29年度 以降 | 未実施 H29年度 以降 | 今後検討 H29年月 以降 |
| ②大規模工場等への ・大規模工場等へ 浸水リスクの説明 | | ・作成に必要な情報(浸水 H28年度 想定区域の浸水深、浸水 から順次 継続時間等)の提供 実施 | | ・大規模工場等への技術 H29年度 的助言を行う。 | ・大規模工場等への浸水 H28年度 リスクの説明と水害対策 等の啓発活動を行う。 | ・広報、HPでPRを実施 H28年度 から実施 から実施 |
| 浸水リスクの説明と水 I 浸水リスクの説明 害対策等の啓発活動 | | 想定最大規模降雨による 引き続き 洪水浸水想定区域図を作 実施 成中 | | 今後検討 H29年度 以降 | 未実施 H29年度 以降 | 今後検討 H29年月 以降 |

| | 減災のための! (概ね5年 | 取組項 間) | 目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 富山市 | | 射水市 | |
|--------|--------------------------------------|---------------|-------------------------------|----------------------------|---------------------|---|---------------------|---------|----|--|---------------|---------------------------------|---------------|
| 事 項 | カテゴリ | 課題 の 対応 | 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 |
| ١— | ド対策の主な取組 | | | | | | | | | | | | |
| ■決 | 供水を河川内で安全に流す対象 | 策 | | | | | | | | | | | |
| | | | l . | めのハード対策を推進する。 | 引き続き 実施 | ・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 | 引き続き 実施 | | | | | | |
| | ·流下能力対策 ·侵食·洗掘対策 ·浸透対策 | T,U,V | ・洪水を安全に流すため のハード対策の推進 | 神通川:6.9km実施済み。 | 引き続き 実施 | いたち川:護岸L=101m 山田川:護岸L=20m | 引き続き 実施 | | | | | | |
| | ・パイピング対策 ・堤防整備 | 1,0,0 | ・防災拠点等の整備の | 防災拠点等の整備を検討する。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | |
| | | | 検討 | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | |
| ■允 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | |
| | ・堤防天端の保護 | W | ・越水が発生した場合の 危機管理型ハード対策 | までの時間を少しでも引き延ば | 実施 | ・越水が発生した場合でも決壊 までの時間を少しでも引き延ば す危機管理型ハード対策を推進 する。 | から順次 | | | | | | |
| | ・裏法尻の補強 | | の推進 | 神通川:34.2km実施済み。 | 引き続き 実施 | 山田川:L=176m | 引き続き 実施 | | | | | | |
| ■居 | □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ | 防活動 | 、排水活動に資する基盤 | 等の整備 | | | | | | | | | |
| | | | ・水防連絡会にて水防 倉庫の備蓄材などの合 | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き 実施 | 水防パトロールにて水防倉庫の 備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き 実施 | | | ・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。 | H28年度 から検討 | ・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 | H28年度 から検討 |
| | ①新技術を活用した水防資 | O.P | 同巡視を実施 | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 | 引き続き 実施 | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施 設点検 | 引き続き 実施 | | | ・出水期前後に水防倉庫の備蓄 確認を実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施 設点検に参加 | 引き続き 実施 | 今年度は合同巡視に出席できな かった。 | H29年度 から検討 |
| | 機材の検討及び配備 | · | 新技術(水のう等)を活 | ・新技術(水のう等)を活用した 資機材等の配備 | H28年度 から検討 | 水防パトロールにて水防倉庫の 備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き 実施 | | | ・新技術を活用した資機材について先進事例などを情報収集に 努める。 | H28年度 から検討 | ・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 | H28年度 から検討 |
| | | | 用した資機材等の配備 | 【H29.1現在】検討中 | 引き続き 実施 | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施 設点検 | | | | ・新技術の活用事例などを情報 収集を実施 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 |
| | | | | ・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置 | H28年度 から順次 整備 | ・河川監視カメラの設置(水位計 設置箇所) | H28年度 から順次 整備 | | | | | | |
| | ②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカ | L,J | ・簡易水位計の設置 | | 金州 | | TE NW | | | | | | |

| 減災のための! (概ね5年 | | 目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 富山市 | | 射水市 | |
|------------------------------|------|-----------------------|--|---------------------|---|---------------|--|------------|---|--------------|--|-------------|
| 対策の主な取組 ①急流河川 | 特有の | の洪水を理解するための | | | | | | | | | | |
| ² 時から住民等への周知・教育 | 頁•訓練 | に関する取組 | | | | | | | | | | |
| | | | | 別き続き実施 | | 別き続き実施 | 自治体の教育委員会と連携し、 効果的な水防の避難や訓練な ど支援 | 引き続き 実施 | ・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。 | 別き続き実施 | ・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写見パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。 | 実施 |
| ①小中学校等における水災 害教育を実施 | Α | ・出前講座等の活用 | ・【H28.6.29】熊野小学校にて出 前講座(水生生物調査)を実施 ・【H28.12.6】桜谷小学校にて出 前講座(ハザードマップ)を実施 ・【H28.12.9】富山工業高校生に 講義 | 引き続き実施 | 検討中 県管理河川、ダムにお いて小学校等に説明会 を開催している。 | 引き続き実施 | 【H28.6.8】富山県教育会にて出 前講座(気象全般)を実施 | 引き続き 実施 | 継続して実施 | 引き続き実施 | | 引き終実施 |
| ②出前講座等を活用し、水 | | | ・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 | 引き続き実施 | | 引き続き 実施 | | | ・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。 | 引き続き 実施 | ・出前講座の活用を積極的に働きかける。 | 引き組 実施 |
| 防災等に関する説明会を開催 | Α | ・出前講座等の活用 | ・【H28.6.24現在】富山市羽根地区にて出前講座を実施・【H28.11.24現在】富山市草島地区にて出前講座を実施 | 引き続き実施 | 検討中 県管理河川、ダムにお いて説明会等を開催し ている。 | 引き続き実施 | | | 継続して実施 | 引き続き実施 | | 引き組実施 |
| ③効果的な「水防災意識社 会」の再構築に役立つ広報 | | ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や | 「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報や資料を作成・配布 | H28年度 から実施 | ・「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報資料を作成、HPへ の掲載等(協議会で作成) | 順次実施 | 関係機関と連携して効果的な対応に協力 | 順次実施 | ・記事を作成し、市の広報誌掲載し、市民に配布している。さらに、ハザードマップを作成し配布 するほか、HPに掲載する。 | 実施 | ・市広報紙面に記事を掲載し市 展への啓発を図る。 | 順次 |
| や資料を作成・配布 | | 資料を作成・配布 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 要配慮者利用施設管理者への 資料作成、説明【H29.2~4】 | 順次実施 | 洪水情報のプッシュ型配信など、市の広報やHPを通じて市民の意識向上に努めた。 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次 |
| ④自治会や地域住民が参 | | ・重要水防箇所等の共 | 実施 | H27年度 から毎年 実施 | ・重要水防箇所等の共同点検の 実施 | H28年度 以降検討 | | | ・国、県と合同で毎年実施 | 順次毎年 実施 | ·河川管理者と自治会や地域住 民で重要水防箇所等の共同点 検を実施する。 | 順次実施 |
| 加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 | Α | 同点検 | 【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 | | 【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の 点検を行った。 | | | | 共同点検に参加 | | 今年度は合同巡視に出席できないかった。 | H29年 からt |
| ⑤まるごとまちごとハザ ー ド | D.F | ・まるごとまちごとハ | ごとハザードマップへの情報提供 | 順次実施 | ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 | | | | ・ハザードマップ見直しの際に実 施の必要性について検討する。 | | ・ハザードマップ見直しの際に検 制計する。 | 順次 |
| マップを整備 | Ï | ザードマップへの情報提供 | 検討中 | | 想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | 今後検討 | 必要があ れば検討 | 検討中 | 順次 |

| 減災のための取 (概ね5年 | | 目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 富山市 | | 射水市 | |
|---|----------|---|---|---------------|--|---------------------|---|------------|--|------------|---|--------|
| ⑥住民の防災意識を高め、 | | ・自助・共助の促進のための普及啓発。自主防 | | | 自助・共助の促進のための普及 啓発を実施するとともに、市町 村と連携して自主防災組織の資 機材整備や避難訓練等を支援 | 実施 | | | ・自主防災組織結成に向けての 出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金 や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士 の資格を取得するための補助金 の交付 | 実施 | ・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。 | 順次実施 |
| 地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 | I. | 災組織の資機材整備や避難訓練等の支援 | | | 自主防災組織の資機材整備や 避難訓練等の支援を実施 | 引き続き実施 | | | 継続して実施 | 引き続き実施 | ・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援。 | 引き続き実施 |
| ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ | | な避難行動のための取組 | | | | | | | | | | |
| ■情報伝達、避難計画等に関する | 事項 | | | | | | | | | | | |
| ①リアルタイムの情報提供 やプッシュ型情報の発信な ど防災情報の充実 | I,J | ・川の防災情報システム の改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報 等の情報発信 | ・川の防災情報システムの改良 及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 | 順次実施 | ・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供。・河川情報システムの改良・携帯端末向けの緊急速報メール配信の実施 | 検討 | ・気象警報・注意報等を発表し、 現象ごとに警戒、注意期間及び 雨のピーク時間帯、量などの予 想最大値を周知し、必要に応じ て、自治体、関係機関に情報伝 達(ホットライン)を実施 | 順次整備 | ジタル式に再整備・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。 | | ・防災行政無線を整備し屋外拡 声子局を56局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送に よる音達エリアを拡充する。ま た、放送内容と同じものをエリア メールや登録制のメール配信、 CATVのL字放送、コミュニティF Mの割り込み放送で配信するシ ステムを整備する。 | 順次整備 |
| | | | ・H29.5.1~の配信に向けて、手 続き中 | 引き続き 実施 | 【H28.8.1】新たな富山県総合防 災システムの運用開始。 ・河川情報システムの更新作業 中 | 引き続き実施 | ・【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ 情報文、伝文の変更。 | 順次実施 | アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備するための調査 を開始 | | | 整備済 |
| ②避難勧告等の発令に着目 した防災行動計画(タイムラ (| С | ・出水後におけるタイム ラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情 | 検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の | 順次実施 | ・市町村が作成するタイムライン に必要な水位情報等の提供 | 順次実施 | 富山河川国道事務所、富山県 及び関係市町村と共同で整備・ 改善を支援。 | 順次実施 | | 引き続き実施 | ・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直すなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。 | |
| イン)の整備及び検証と改善 | | | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 実施 | 台風接近時に防災気象情報を 発表し改善、修正点を抽出し、 関係機関と調整。 | 引き続き 実施 | 継続して実施 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 |
| ③想定最大規模も含めた決 壊地点別浸水想定区域図、 家屋倒壊等氾濫想定区域 の公表(浸水ナビ等による | D,E F | ·洪水浸水想定区域図. | ・神通川、西派川、井田川及び 熊野川の洪水浸水想定区域図 の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を 作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シ ミュレーションの公表 | H28年度 から実施 | ・想定最大規模も含めた浸水想 定区域図や家屋倒壊等氾濫想 定区域等の公表 | H28年度 から順次 実施 | | | | | | |
| 公表) | | | 【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済み | 実施済 | 想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | | | | |

| 減災のための! (概ね5年 | | 目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 富山市 | | 射水市 | |
|------------------------------|----------|--|---|---------------------|--|---------------------|---|--------------|---|---------------------------------------|--|-------------------|
| ④立ち退き避難が必要な区 域及び避難方法の検討 | D,E | ・浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間及び 家屋倒壊危険区域の情 | ・浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の情報提供を行う。 | H28年度 から実施 | ・浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の公表 | H28年度 から順次 実施 | | | ・河川管理者などの関係機関との協議を行い、立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行い、避難計画の策定に向けて準備を進める | から検討 | ・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち 退き避難が必要なエリアを検証 し、現行の避難勧告等判断伝達 マニュアルを見直す。 | H28年 から川 実施 |
| 以及い近無力 仏の代刊 | Γ,Κ | 報提供 | 【H28.6.20】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域図を公表済 | 実施済 | 想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | 今後実施 | H29以降 | 検討中 | 順次 |
| ⑤参加市町村による広域避 | D.E | ・作成に必要な情報の | ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 | H28年度 から順次 実施 | 区域の浸水深、浸水継続時間 | H28年度 から順次 実施 | | | ・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定するための準備を進める。 | れば検討 | ・参加市町村で連携し広域避難に関する検討を行う。 | H28 から 実が |
| 難計画の策定及び支援 | D,E | 提供及び策定を支援 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | 関係機関との協議を今後実施 | 必要があ れば検討 | 検討中 | 順 |
| ⑥広域的な避難計画等を反 | | ・ハザードマップポータ | | H28年度 から実施 | 区域の浸水深、浸水継続時間 | H28年度 から順次 実施 | | | 洪水ハザードマップの修正を行う。 | 富山県の 浸水想定 区域の策 定を で 策定 | ・洪水ハザードマップの見直しを 検討する。 | H28 から 実が |
| 映した新たな洪水ハザード マップの策定・周知 | D,E F | ルサイトの周知と活用を促進 | 作業中 | 引き続き実施 | 想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中 | 引き続き実施 | | | 今後実施 | 富山県の 浸水想定 区域の策 定を受け て策定 | 検討中 | 順3 |
| | | | | 引き続き 実施 | | | | | | | | |
| ⑦水位予測の検討及び精 度の向上 | В | ・水位予測の精度向上の検討・システム改良 | 検討中。システム改良済。 | 引き続き実施 | | | | | | | | |
| | | | | | | | ・「危険度を色分けした時系列」 と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供 | H29年度 | | | | |
| ⑧防災気象情報の改善 | J | ・新しい防災気象情報を 気象庁HPで提供 | | | | | ・「危険度を色分けした時系列」 と「警報級の可能性」を、防災情 報提供システムで試行提供中 | H29年度 | | | | |
| ·対策の主な取組 ③洪水氾濫 | | | 間の確保のための水防活動等 | 学の取組 | | | | | | | | |
| <防活動の効率化及び水防体 | 制の強 | 能化に関する取組 | | 171+4++ | | 171242 | ᄷᇷᄼᄧ | 71+/++ | | 171242 | | . Inc |
| ①水防団等への連絡体制 | 14 | ・水防連絡会にて連絡 体制の確認を行い、県 | ・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町村と共同で情報伝達訓練を実施する。 | 毎年実施 | | 毎年実施 | | 毎年実施 | 練の実施 | 毎年実施 | ・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 | 毎年 |
| の確認と首長も参加した実 践的な情報伝達訓練の実施 | IVI | 市町と共同で情報伝達 訓練の実施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 情報伝達訓練を実施 | 引き続き 実施 | 【28.4.21】水防連絡会にて確認。 | 。引 またまた |

| 減災のための! (概ね5年 | 取組項 間) | 目 | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 富山市 | | 射水市 | |
|---|-----------|------------------------------------|---|--------------|--|---------------------|------------------------------------|--------------|---|---------------|---|---------------|
| ②自治体関係機関や水防 団が参加した洪水に対する リスクの高い箇所の合同巡 | L,M | ・重要水防箇所等の合 同巡視を実施 | 実施 | 毎年実施 | | 毎年実施 | 把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。 | 毎年実施 | 団も参加し、国、県と合同で毎年 実施 | 毎年実施 | 行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。 | 音 毎年第 |
| 視の実施 | | | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.8】合同巡視時に実施 、 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.2~3】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 重要水防箇所等の共同点検に 参加 | 引き続き実施 | 今年度は合同巡視に出席できなかった。 | な H29年 からt |
| ③毎年、関係機関が連携し | O.P | ・水防管理団体が行う訓練への参加 | 参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。 | 引き続き毎年実施 | ・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施・水防管理団体が行う訓練への参加・水防工法講習会の支援等を行う。 | 毎年実施 | 要請による訓練への支援 | 引き続き毎年実施 | ・水防団、国、県、自主防災組織 などが参加し、出水期前に水防 法に基づく水防訓練の実施 | 引き続き実施 | ・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実 働訓練を検討する。 | 引き線 毎年 |
| た水防実働訓練等を実施 | 0,P | · 水防工法講習会の支援 | 【H28.5.18】常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H28.5.28】富山市主催の水防訓練(場所:富山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上流)へ参加 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.5.28】富山市主催の水防訓 練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管 内水防技術講習会への参加 | 引き続き 毎年実施 | 要請のあった県、市町村の防災訓練参加 | 引き続き毎年実施 | 【H28.5.18】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 て、水防工法研修会に参加 [H28.5.28]富山市主催の水防訓練を実施(場所:富山市磯部町 二丁目地先 神通川右岸 富山 大橋上流) | 引き続き実施 | 【28.6.10】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。 | 引き 実施 隆 |
| ④水防活動の担い手となる 水防団員・水防協力団体の | N,P | ・水防団員の募集促進 | | | | | | | ・水防団員を兼ねる、消防団員 について、HP掲載や、ポスター 掲示、自治振興会長会議への 依頼により、募集促進 | H29年度 から検討 | ・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。 | 引き 実施 |
| 募集・指定を促進 | | | | | | | | | 今後検討 | H29年度 以降 | ホームページ等で消防団員の募 集を行っている。 | 身 引き 実施 |
| ⑤国・県・自治体職員等を対 | | | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | | | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き 実施 |
| 象に、水防技術講習会を実施 | 0 | ・水防技術講習会に参加 加 | H28年9,10,11月に水防技術基礎 講座に参加。 | 引き続き 実施 | 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 | 引き続き 実施 | | | 継続して実施 | 引き続き 実施 | 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。 | 隆 引き 実施 |
| ⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検 | Q | ・ 復旧活動の拠点等配 | 検討 | から検討 | ・検討に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | | | | | |
| 新の拠点等配置計画の模 討を実施 | Q | 置計画の検討 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | | | | |
| | 場等の | <u> </u> 自衛水防の推進に関する | る取組 | | | <u> </u> | | | | L | | |
| ①要配慮者利用施設による | | ・要配慮者利用施設に よる避難確保計画等の | 確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。 | 実施 | ・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | | ・要配慮者利用施設に対する、 技術的助言を行う。 | | ・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。 | から 実施 |
| 避難確保計画の作成に向けた支援を実施 | К | 作成を行おうとする際の技術的な助言 | 検討中 | 引き続き実施 | 【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4月】説明会の実施予定 | | | | 今後検討 | H29年度 以降 | 施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼した。 | 実施 |
| ②大規模工場等への浸水リスケの | _ | ・大規模工場等への浸 | ・大規模工場等への浸水リスク の説明や水害対策など技術的 な助言を行う。 | 引き続き 実施 | ・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | | ・大規模工場等への技術的助言を行う。 | H29年度 から検討 | | |
| スクの説明と水害対策等の 啓発活動 | I | 水リスクの説明や水害 対策など技術的な助言 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | 今後検討 | H29年度 以降 | | |

| 減災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | 富山県 | 富山地方気象台 | 富山市 | 射水市 |
|---|---|---|---|---|---|
| ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動 | 動及び施設運用の強化 | | | | |
| ■救援・救助活動の効率化に関する取組 | | | | | |
| ①大規模災害時の救援・救 はおおちまだのなめの拠点により・広域支援拠点等の検 | ・広域支援拠点等の検討支援 H28年度 から検討 | ・検討に必要な情報(浸水想定 H28年月 区域の浸水深、浸水継続時間 から順等)の提供 実施 | 变 次 | ・河川管理者などから情報提供 H29年度 を受けて、関係機関との協議を から検討 行い、計画策定 | ・新たな浸水想定に基づき現行 H28年度 の地域防災計画等の見直しを から検討 検討する |
| 助活動等支援のための拠点 E,R 討支援 等配置計画の検討を実施 討支援 | 検討中 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪水 引き続き 浸水想定区域図を作成中 実施 | *** | 今後検討 H29年度 以降 | 検討中順次実施 |
| ■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施 | | | | | |
| ①氾濫水を迅速に排水する ため、排水施設の情報共 有、排水手法等の検討を行 い、大規模水害を想定した R,S 配置計画などを検討 | ・氾濫水を迅速に排水するた め、排水施設の情報共有、排水 手法等の検討を行い、大規模水 害を想定した排水計画(案)を作 成 | ・排水ポンプ車の出動要請に基 引き続 づく出動可能箇所の検討 実施 | * | ・樋門、排水路等の情報を踏ま H29年度 え排水ポンプ車の適切な配置計 から検討 画などを検討 | ・排水施設等の情報を確認・共 有し、排水ポンプの設置箇所の がら検討 選定 |
| 排水計画(案)を作成 | 実施 | 検討中 引き続: 実施 | * | ・河川管理者等関係機関との情 H29年度 報交換をもとに、適切な配置を 今後検討する | |
| ②排水ポンプ車の出動要請・毎年、出水期前に県・ | 連携して連絡体制の整備を行 毎年実施い、情報共有を図る。 | ・連絡体制の確認 引き続実施 | き | ・出水期前に国・県など関係機 関と連絡体制の情報共有を図 る。 | ・河川管理者と連携を図り、連絡 引き続き体制の整備を行う。 毎年実施 |
| の連絡体制等を整備 おの整備、情報共有 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 引き続き 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 毎年実施 | | *************************************** | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 引き続き 実施 | 【H28.4.21】水防連絡会で連絡体 引き続き 制の整備、情報の共有化を実 施。 |
| ・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水 | ・実践的な操作訓練や排水計画 H28年度 に基づく排水訓練の検討及び実 施 ・水防管理団体が行う水防訓練 等への参加 | ・水防管理団体が行う水防訓練 等への参加 | 施 | ・水防法に基づく水防訓練の実 引き続き 実施 | ・河川管理者が行う操作訓練に 参加 |
| ③関係機関が連携した排水 実働訓練の実施 ・水防管理団体が行う水 防訓練等への参加 | 【H28.5.28】富山市主催の水防訓 引き続き 練(場所:富山市磯部町二丁目 地先 神通川右岸 富山大橋上 流)へ参加 | 【H28.5.28】富山市主催の水防訓練(場所:富山市磯部町二丁目地先神通川右岸富山大橋上流)へ参加【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 | *************************************** | 【H28.5.28】富山市主催の水防訓 引き続き 練を開催(場所:富山市磯部町 二丁目地先 神通川右岸 富山 大橋上流) | 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整 引き続き 備局の水防技術講習会に参加 した。 |

(**様式1−取組一覧) 庄川取組状況確認様式 1/4**

| めの取組項目(素 概ね5年間) | 美) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | ì | 富山市 | | 高岡市 | | 射水市 | 1 | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|---------------------|--|----------------------------------|-------------|---|--|---------------------------------|---------|--|--|---------------------------------------|---------------|--------------------------------|-----------|---------------------------|------------|---|--|--|--|
| | | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | E |
| | | | | | ' | | | | | | | | | , | | | | | |
| で対策 | | ・洪水を河川内で安全に流す | 引き続き | ・洪水を河川内で安全に流 | する引き続き | | ı | | | I | | | | I | | | | | |
| | ・洪水を安全に流すれ | ためのハード対策を推進す | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 引き続き | | 引き続き | | | | | | | | | | | | | | H |
| | | | 关心 | 何未未日「至 | 大心 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 防災拠点等の整備を検討する。 | す引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・防災拠点等の整備 の検討 | 検討中 | 引き続き | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | <u> </u> | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 司夫结 | ・越水が発生した場合 | 延ばす危機管理型ハード対 策を推進する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 庄川:17.4km実施済み。 | 引き続き | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 关心 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助、水防活動、排 | 水活動に資する基盤等の 1 | | 미리キ結キ | ・水防パトロールにて水防倉 | 2 2 4 4 4 | | | • (桂椒太 lu 年) 心 東 性 太 於 | 山20年度 | ・河川等理者と連携を図り | | •河川管理者均水防管理者 | 山20年度 | ・河川管理者や水防団と連携 | LU20年度 | ・河川祭理老と連携し水防姿 | U20年度 | ・河川等理者や水味団と連 | 計性 |
| | | | | | | | | 討する。 | | | 引き続き | (庄川水害予防組合)と連携 し、水防資機材の配備状況を | から検討 | | | | | | |
| 宇佐 | た 水防資材の確認・整 | [uoo o ol o minimum technic | 714444 | | - 71+4++ | | | He to to the A | 714444 | | | | 71444 | Mali | 714644 | Tues of A E W 48 nt 1 = th 4t | 71+ /++ | | |
| C O,R, I +H28年 | 度 備 | 【H28.6.9】台同巡視時に実施 | 実施 | 【H28.5.25】高岡土木管内河 | | | | 情報収集中 | 引き続き 実施 | 出水期前に資機材配備状況 | 実施 | | 引続き実 施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 【H28.6】台同巡視時に実施 | 51き続き 実施 | 【H28.6.9】台同巡視時に実施 | 肔 |
| | | | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | |
| + | | ・新技術(水のう等)を活用し た姿機材等の配備 | | ・水防パトロールにて水防倉庫の併業材などの会局巡路 | 引き続き | | | ・情報を収集し、必要性を検 | H28年度 | ・河川管理者と連携を図り、 | 引き続き | ・河川管理者や水防管理者 | H28年度 | ・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配供状 | H28年度 | ・河川管理者と連携し水防資 | H28年度 | ・河川管理者や水防団と連 | 携出 |
| 리노성 | - ± | /こ見1及77 号 Vノ 日じ 帰 | 大胆 | を実施 | 大胆 | | | 117.00 | N-51XE1 | や整備を実施する。 | 大ル | | | 況の確認を行う。 | N-51KE1 | 施する。 | N-51861 | 況の確認を行う。 | ^ |
| 、 □ ▼ 実施 | ・新技術を活用した資 | ; <mark>検討中</mark> | 引き続き | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | も 引き続き | | | 情報収集中 | 引き続き | 検討中 | 引き続き | | 順次実施 | 検討中 | 引き続き | 検討中 | 引き続き | 検討中 | |
| | | | 実施 | 川施設点検 | | | | | 美施 | | 美施 | | | | 実施 | | 美施 | | |
| | | | | 施設点検 | | | | | | | | | | | | | | | |
| < | | ・CCTVカメラの設置 | | | | | | | | | | | | | | | | ・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置 | |
| L,N から順3 | | · 検討中 | 引き続き | 県管理の支川(水位周知河 | 引き続き | | | | | | | | | | | | | 検討中 | |
| - 金州 | | | 実施 | 川)において施工中。 | 実施 | | | | | 中心に整備しており、河川沿 川の整備については検討中 | 実施 | | | | | | | | |
| 流河川特有の洪 | 水を理解するための周知 | ・理解促進の取組 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 」・教育・訓練に関 | する取組 | ・市町村の亜銭により、出前 | 리キ結キ | ・山前護座筆を活田した政 | * 21キ結キ | ・白治体の教育系昌会と演進 | [2] 李结李 | ・小・中学校から東切があっ | 21キ結キ | ・小山学校からの東郊に広 | 山20年度 | ・小中学校から東切があった | 리キ結キ | ・山前謙広笙で陆巛粉苔をす | 门コキ結キ | ・山前謙麻笙で亜切が払った | 리キ結キ | ・小・中学校からの体前によ | F |
| | | | | を積極的に行っていく。 | 実施 | し、効果的な水防の避難や訓練など支援 | 実施 | た場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法な | 実施 | | | 場合、過去に生じた水害状況 の写真パネルや資料提供を | 実施 | | 実施 | | | り、防災教育全般として実施している。 | |
| | | | | | | | | どの出前講座を実施してい る。 | | | | 行う。また、出前講座の甲込があれば対応する。 | | | | | | | |
| A,B,C 引き続き 実施 | ・ 出前講座等の活用 | 【H28.12.9】富山工業高校生 に講義 | 引き続き | 和田川ダム | 実施 | ・【H28.4.15】砺波市教育委員会にて出前講座(気候温暖 | 引き続き実施 | 継続して実施 | 引き続き 実施 | ・小中学校からの要望に応 じ、防災教育等に関する出前 | H29年度 から検討 | 小学校1校に水害状況の写 真パネル等を貸し出しした。 | 引き続き実施 | 【H28.10.30】 出町中学校にて実施 | 引き続き | 検討中 | 引き続き 実施 | 【H28.6】福野高校生徒から 聞き取り調査に協力 | , の |
| | | | | 【H28.6.20ほか】射水市立新 湊小学校4年生ほか8校 | | 化)を実施 ・【H28.12.9】砺波・高岡地区 | | | | 講座を実施する。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 高校子校争務職員I~四則講座(天気図等)実施 | | | | | | | | | | | | | |
| | _ | | | ・出前講座等を活用した啓蒙を積極的に行っていく。 | ^発 引き続き 実施 | | | 要望があった場合、ハザード | | ・出前講座等を活用し水防災 等に関する説明会を実施す | 引き続き 実施 | ・出前講座の活用を積極的に働きかける。 | | | | | | |)要 |
| | | ζ. | | | | | | 入手方法などの出前講座を | | వ . | | | | | | る 。 | | | |
| A.B.C 引き続 | き 出前講座等の活用 | ·【H28.6.19】砺波市南般若地 | 引き続き | 説明会の実施 | 引き続き | | | | 引き続き | ・【H28.9.11】高岡市角地区に | 引き続き | 7地区において風水害をテー | 引き続き | 【H29.1現在】 | 引き続き | 4カ所で出前講座等を実施 | 引き続き | ・出前講座による説明会開 | 催 |
| 美胞 | | 区にて出前講座を実施 ・【H28.9.11】高岡市角地区に | 実施 | ・境川ダム 【H28.8.20】砺波市西中地区 | 実施 | | | | 実施 | て出前講座を実施 | 実施 | マとした出前講座を実施。 | 実施 | 各種団体等23回実施 | 実施 | | 実施 | を市民にPR | |
| | | (田削講座を夫施 | | 展地水保主芸 【28.9.28】南砺市ボランティフ 連絡協議会 | 7 | | | | | | | | | | | | | | |
| + | | ・「水防災意識社会」の再構 | H28年度 | 「水防災意識社会」の再構 | 順次実施 | | 順次実施 | | 引き続き | ・「水防災意識社会」の再構 | | | 順次実施 | ・「水防災意識社会」の再構 | 順次実施 | | | | 布 |
| | | 築に役立つ広報や資料を作成・配布 | から実施 | 築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) | : | な対応に協力 | | 掲載し、市民に配布してい る。さらに、ハザードマップを 作成し配布している。 | 実施 | 築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」 | | 市民への啓発を図る。 | | 築に役立つ広報や資料を作成・配布 | | 災害対策について特集して いる。 | 毎年実施 | し管内への周知を図る。 | |
| | | | | C1FIX) | | | | TERROBUTIO CONS. | | の改定時に併せて、特集 ページを作成する。 | | | | | | | | | |
| | . F. J. H. W. A. M. A | | | | | | | | 1 | 1 十十四年、 の担非ナムシナ | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| A,B,J H28年度 から実を | ・「水防災意識社会」 ・「水防災意識社会」 ・「水防災意識社会」 ・「水防災意識社会」 ・「水防災意識社会」 | | | | | | | | | ・市広報誌への掲載を検討す る。 | | | | | | | | | |
| A,B,J H28年度 から実別 | | 検討中 | 引き続き | 検討中 | 引き続き | 要配慮者利用施設管理者へ の資料作成、説明【H29.2~ | 順次実施 | i 洪水情報のブッシュ型配信な ど、市の広報やHPを通じて市 | 引き続き | న 。 | 引き続き | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き | 【H28.6】広報に掲載済み | 引き続き | 検討中 | _ |
| | 課対の 目時 日 日 日 日 | 課題の 目標 内容 | 対策 | 関題の 日標 時期 内容 実施内容 時期 内容 実施内容 時期 内容 実施内容 時期 内容 実施内容 時期 対応 大派水を安全に流すて、近のハード対策の推進 大派水を安全に流すて、近のハード対策の推進 大阪のルード対策の推進 大阪の大阪会社の大阪会社の大阪会社の大阪会社の大阪会社の大阪会社の大阪会社の大阪 | 理器の 日報 内容 実施内容 時期 実施内容をに渡すためのハード対策を推進する。 | | 第200年間 | 実施内容 時期 またかのハード対策を指定 実施 たかのハード対策を指定 実施 たかのハード対策を指定 実施 たかのハード対策を指定 実施 にかいして対策を指定 に対策を持定 に対 | ### (1945年) 日曜 内容 実施内容 外別 実施内容 からかっ 一分可能的 (1948年) (1 | 対象 | 大きな | | | | ### 1 | 1985 1985 | ### PACKET OF THE PACKET OF TH | ## PAGE 18 18 18 18 18 18 18 1 | March Marc |

(**様式1−取組一覧) 庄川取組状況確認様式 2/4**

| | の取組 既ね5年 | 項目(素案) 間) |) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | 富山市 | | 高岡市 | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|--|-------------|----------------------|---|---|----------------------|---|---------------------|---|---|--------------|---|---|--------|--|---------------|--|---------------|---|---------------------------------------|
| \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ | | | | ・重要水防箇所等の共同点 検を実施 | H27年度 から順 次、毎年 | ・重要水防箇所等の共同点 検の実施 | H28年度 以降検討 | | ・沿川自治会と浸水箇所を点 検 | 順次毎年 実施 | ・河川管理者と自治会や地域 住民で重要水防箇所等の共 同点検を実施する。 | ・河川管理者と自治会や地域 住民で重要水防箇所等の共 同点検を実施する。 | | ・河川管理者と自治会や地域 住民で重要水防箇所等の共 同点検を実施する。 | 実施 | ・河川管理者を中心とし、自 治会等が参加した重要水防 箇所の点検を実施している。 | 順次毎年 実施 | - 県と合同で毎年実施 | 順次年実施 |
| ④自治会や地域住民 が参加した洪水に対す るリスクの高い箇所の | С | H27年度 から順 次、毎年 | ・重要水防箇所等の # 回点検 | 【山2860】公川市町 公川白 | 実施 | 【H28.6.9】沿川市町、沿川自 | 리キ結キ | | ・公川白治会と温水策所を占 | 리キ結キ | 【H28.6.9】沿川市町、沿川自 引き続き | | 리キ结キ | | | | 리キ結キ | 【H28.6】県との合同パトロー | - 引き続 |
| 共同点検の実施 | | 実施 | 火间流 块 | 治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 | 実施 | 治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 | 実施 | | 検 | 実施 | 治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 | 民も出席し重要水防箇所の共同点検を行った。 | | 柳瀬地区防災ウォーキング実施 | 実施 | | 実施 | ル時に実施 | 実施 |
| | | | まるごとまちごとハ | ・市町村が作成するまるごと まちごとハザードマップへの 情報提供 | 順次実施 | ・ハザードマップ作成の基礎 資料となる浸水想定区域図 の公表 | | | ・ハザードマップ見直しの際 に実施の必要性について検 討する。 | | ・ハザードマップ見直しの際 順次実施 に検討する。 | ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 | 順次実施 | ・ハザードマップ見直しの際 に検討する。 | H28年度 以降検討 | ・ハザードマップ見直しの際 に検討する。 | 順次実施 | ・市財政課・防災担当課と協議し、必要性の有無等について検討していく。 | |
| ⑤まるごとまちごとハ ザードマップを整備 | F,G,H | 順次実施 | ザードマップへの情報 提供 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪 水浸水想定区域図を作成中 | | | 今後検討 | 必要があ れば検討 | 検討中 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続 実施 |
| | | | | | | ・自助・共助の促進のための 音及啓発を実施するととも に、市町村と連携して自主防 災組織の資機材整備や避難 訓練等を支援 | | | ・自主防災組織結成に向けて の出前課座の実施 ・自主防災組織への訓練補 助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が 災土の資格を取得するため の補助金の交付 | 引き続き実施 | ・自主防災組織等の結成率 の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出有。 ・住民の防災意識を高めるため、出有。 ・自主防災組織の要となる防 災士を育成する。 | ・自主防災組織が行う活動に 対する指導・助言や自主防災 活動のリーダー育成を支援し 自主防災組織の充実を図 る。 | | ・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士 による訓練指導等の実施 | | ・自主防災組織への情報提供を進める。 | | 士の有志により「防災こころ え隊」を設立した。当隊はよ 主防災組織からの派遣要謀 に基づき、各種訓練に参加 うえアドバイスをすることで、 自主防災組織の活性化につ ながっている。今後も積極的 | ろ 自 請 の (こ) (ご) (ご) |
| ⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 | М | | ・自助・共助の促進の ための普及啓発。自 主防災組織の資機材 整備や避難訓練等の 支援 | | | 【H28年度】 自主防災組織の資機材整備 や避難訓練等の支援を実施 | 引き続き 実施 | | 継続して実施 | 引き続き実施 | - 【H28.6.3】 庄川 (中田地 図)水防訓練実施 - 【H28.9.11】 (持地区において 出前講座実施 ・水害に関する出前講座を実施(5件) ・自主防災組織等の結成率 の向上。 ・自主防災組織の要となる防 災土を育成、 | ・果が実施する防災活動リーダー育成研修について案内 し参加を使う。 ・防災活動リーダーを担う人 が成活動リーダーを担う人 材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡 協議会の活動を支援。 | 引き続き実施 | 防災士による出前講座の 開催(5回) | 引き続き実施 | 防災講演会を実施予定 | 引き続き実施 | に隊の活動を推進していて とで、地域の防災力向上を る。 防災講演会を実施予定 | |
| 対策の主な取組 ②迅返 青報伝達、避難計画等に「 | | | 動のための取組 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①リアルタイムの情報 提供やブッシュ型情報 の発信など防災情報の 充実 | I,J,K,L | | ・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信・ブッシュ型の送生物を含むないます。 | 手続き中 | 順次実施 | ・富山県総合防災システムに より、①果と参加可能な国・ 市町村・防災関係機関等がリ アルタイムで開覧・書込み、 情報共有を実施。②また、し アラート等を活用し、報道機 関等との連携により住民等へ 被害情報等を迅速・的確に提 供。 ・河川情報システムの改良帯 端末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール 配信の実施 | 引き続き | ・気象警報・注意報等を発表。順次整 に、現象ごとに警戒・注意報 間及び雨のビーク時間帯、量 などの予想最大値を周知し、 必要に応じて、自治体、関係 機関に情報伝達(ホットライ ン)を実施 | 「アナログ式防災行政無線を デジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに 受信できる、SNSやスマート フォンアブリについて引き続 き、普及を図る。 | 順次整備 | いて、更なる普及のため周 知・広報を実施する。また、エ リアメール、CATVのL字放 送、コミュニティFMの割り込 み放送を活用する。 | ・ | | - 登録制である循波市緊急 メールについて、更なる普及 のため市民に周知及び広報 を行う。 | 順次整備 | - 登録制メールの普及 | H28年度 から実施 | ・携帯電話及びパソコンの メールを利用した緊急メール の登録について、更なる音》 を目指しPRL CT べ。 ・既存の防災行政無線をデタル化するとともに、難聴エ ア解消におけて屋外拡声子 局の増設も行う。 ・新たな情報発信ツールを引 備していく(防災アブリの開 発)。 | ル 音及 デジェリ 子 |
| | | | 報等の情報発信 | - (H28.3)よりスマートフォン 向け機能を追加し、運用開始。 - H29.5.1~の配信に向けて、 手続き中 | 引き続き実施 | 【H28.8.1】新たな富山県総合 防災システムの連用開始。 【H29.1月現在】 ・河川情報システムの更新作 業中 | | ・【H29.3】「はん濫」一「氾濫」 順次実施 へ情報文、伝文の変更。 | を アナログ式防災行政無線を デジタル式に再整備するため の調査を開始 | 継続して整備を行う | - 高岡市防災情報メールに、 指定河川洪水予報情報を追加・・レアラートを活用した、防災情報の提供を8月1日に開始 実施 | 9月26日から順次運用開始。 H29年2月に工事完了。 | 整備済 | 検討中 | 引き続き 実施 | Yahoo防災情報での「自治体 からの緊急情報」提供開始 | 引き続き実施 | H29.5.1~の配信に向けて、 手続き中 | 、順次 |
| ②各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏 | | 阿尔安 佐 | 出水後におけるタイ | の検証と改善・必要に応じて、水位情報等 の提供など | 順次実施 | ・市町村が作成する。タイムラ インに必要な水位情報等の 提供 | | 県及び関係市町村と共同で 整備・改善を支援 | 再度、河川管理者と協議を行う。 | 引き続き実施 | ・作成済みタイムラインの改 書を実施、洪水対応マニュア 東施 ルの見直しを実施する。 | ・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達 マニュアルの見直すなど、タ イムラインを意識した避難対 策となるよう改善を図る。 | | ン)は策定済み。河川管理者 及び関係機関と連携して改善等を図る。 | 実施 | 善を実施 | から実施 | 定時期と合わせ水防計画において策定する。 | IC |
| まえた大規模水害時の タイムライン(事前防災 計画)の策定と検証及 び改善 | E | 順次美施 | ムラインの検証と改善・必要に応じて、水位 情報等の提供 | 検討中 | 引き続き実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 台風接近時に防災気象情報 引き続きを発表し改善、修正点を抽出 実施 し、関係機関と調整。 | 継続して実施 | 引き続き実施 | ・平成29年度小矢部川の浸 水想定公表後に洪水対応マ ニュアルの見直しを実施予定 | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | | 小矢部川を対象としたタイム ラインの改善済み | | 小矢部川を対象としたタイム ラインを作成中 | ム 引き実施 |
| ③想定最大規模も含め た決壊地点別浸水想定 区域図、家屋倒壊等 | F,G,H | | | ・庄川の洪水浸水想定区域 図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域 図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫 シミュレーションの公表 | H28年度 から実施 | - 想定最大規模も含めた浸水 想定区域図や家屋倒壊等氾 濫想定区域等の公表 | H28年度 から順次 実施 | | | | | | | | | | | | |
| 氾濫想定区域の公表 (浸水ナビ等による公 表) | | から美施 | 区域図の策定・公表 | 【H28.6.20】洪水浸水想定区 域図の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図 の作成・提供済 | 実施済 | 想定最大規模降雨による洪 水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | |
| ④立ち退き避難が必要 な区域及び避難方法の 検討 | F,G,H, | かり美胞 | 及び家産倒場厄陕区 | 水継続時間及び家屋倒壊危 険区域の情報提供を行う。 | | ・浸水想定区域の浸水深、浸 水継続時間及び家屋倒壊危 険区域の公表 | | | | | ・家屋倒壊危険区域等より、 力ち退き避難が必要な区域 を検討する。 ・避難所ごとに水害時の浸水 深や避難の可否について確 認を行う。 ・広域避難のほかに垂直避 難等来数な避難方法検討す る。 | | から順次 | | から順次 | | 度から順 | | 害 から、及実施 |
| | | | 域の情報提供 | | 実施済 | 想定最大規模降雨による洪 水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | 今後実施 | H29以降 | ・平成29年度小矢部川の浸 水想定公表後に検討 関き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 水防計画で作成済 | 実施 |
| ⑤参加市町村による広 域避難計画の策定及び 支援 | F,G | から順次 | ・作成に必要な情報 の提供及び策定を支 | ・作成に必要な情報の提供及 び策定を支援 | から順次 | ・作成に必要な情報(浸水想 定区域の浸水深、浸水継続 時間等)の提供 | | | ・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定するための準備を進める。 | れば検討 | ・県西部6市と連携し、広域 平成28年 度から順 次実施 | | 度から順 | し、計画規模洪水に対する広域避難計画を広域避難計画を広域避難計画を を検討・策定する。 ・国、県、関係市町村と連携 し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を広域避難 | 度から順 | ・県、関係市と連携し検討 | 度から順 | ・・広域避難の現実性について、隣接市とも協議しながら 検討していく。 | |
| | 1 | 実施 | 1友 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | I | 1 | 計画を検討・策定する。 | 1 | 1 | 1 | | 1 |

(**様式1−取組一覧) 庄川取組状況確認様式 3/4**

| 減災のための取組項 (概ね5年間 | | | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | i | 富山市 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|-------------------------------|------------|---|--|--------------------------|--|--------------|---|--------------|--|---------------|--|----------------|---|--------------|---|--------------|--|--------------|---------------------------------------|---------|
| の広域的な避難計画等 | | ・ハザードマップポー | ・ハザードマップポータルサートの周知と活用を促進 | | ・作成に必要な情報(浸水想 定区域の浸水深、浸水継続 時間等)の提供 | | | | ・洪水ハザードマップの修正 を行う。 | | しを行い、周知・広報を実施 | | | から順次 | | | ・洪水ハザードマップを更新 し、全戸配布することにより周知 | | | 直 F |
| F.G.H H ハザードマップの策定・ 別知 | 128年度 から実施 | タルサイトの周知と活 用を促進 | 作業中 | 引き続き実施 | 【H29.1現在】想定最大規模 降雨による洪水浸水想定区 域図を作成中 | 引き続き実施 | | | 今後実施 | 未定 | ・平成29年度小矢部川の浸 水想定公表後に実施予定 | 引き続き実施 | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き実施 | 【H29.1】浸水想定区域のデータを受取済み | 引き続き 実施 | 県の基礎調査等が終了した 段階で検討 | U. |
| ⑦水位予測の検討及び D 号 情度の向上 5 | 引き続き実施 | ・水位予測の精度向 上の検討・システム改 良 | ・水位予測の精度向上の検 討・システム改良を行う。 検討中。システム改良済。 | 引き続き 実施 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災気象情報の改 | 100年中 | ・新しい防災気象情報 を気象庁HPで提供 | | | | | -「危険度を色分けした時系 列」と「警報級の可能性」の提 供 ・洪水警報の危険度分布の 提供 | H29年度 | | | | | | | | | | | | |
| E L H | 129年度 | と以家川 ロドで症状 | | | | | ・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」を、 防災情報提供システムで試 行提供中 | H29年度 | | | | | | | | | | | | |
| 策の主な取組 ③洪水氾濫によ | よる被害の | 軽減及び避難時間の研 | 確保のための水防活動等 | の取組 | | | | | | | | | | | | | | | | Ī |
| 活動の効率化及び水防体制の | 強化に関 | | ・水防連絡会にて連絡体制 確認を行い、県市町と共同で 情報伝達訓練を実施する。 | | | 引き続き 毎年実施 | | | ・国・県と連携した、情報伝送訓練の実施 | | 部、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報 伝達訓練に参加する。 | 毎年実施 | | | | | ・河川管理者が行う水防訓練 において、市長も参加するも のとする。 | | | |
| | 毎年実施 | ・水防連絡会にて連 絡体制の確認を行 い、県市町と共同で情 報伝達訓練の実施 | | | | | | | | | ・首長が参加する本部運営割線、市職員の参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。 | 1 | | | | | | | | |
| | | | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を 実施 | 引き続き 毎年実施 | [H28.4.21]水防連絡会にて 確認 [H28.5.27]洪水対応演習を 実施 | 引き続き 毎年実施 | | 引き続き毎年実施 | | 引き続き実施 | 【H28.5.18】 市長が参加する 本部運営訓練を実施し、災灾 本部員及び事務局員に向け た、参集メール配信を実施 【H28.5.27】洪水対応演習を 実施 | 引き続き 対 毎年実施 | [28.4.21]水防連絡会に出席 医し確認した。 [28.5.27]洪水対応演習に参加した。 | 引き続き実施 | [H28.421]水防連絡会にて確認 [H28.5.27]洪水対応演習に 参加 | 引き続き毎年実施 | 【H28.2】災対本部運営、情報 伝達訓練 【H28.11】職員参集訓練 | 引き続き毎年実施 | 南砺市防災訓練及び事前訓練で、水防団と一緒に実施 | ji i |
| 自治体関係機関や防団が参加した洪水。 | 미夫結本 | ・重要水防箇所等の | ・重要水防箇所等の合同巡 視を実施 | | ・重要水防箇所等の合同巡 通 視を実施 | 引き続き 毎年実施 | ・共同で参加し、重要危険箇 所等把握に努め意識共有を 計りソフト面では早めの避難 行動、水防に役立てる。 | 引き続き 毎年実施 | ・重要水防箇所について、水 防団も参加し、国、県と合同 で毎年実施 | 、引き続き 毎年実施 | ・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。 | 引き続き 毎年実施 | ・河川管理者と水防関係機関 で行われる、重要水防箇所 等の合同巡視に参加する。 | 引き続き 毎年実施 | ·河川管理者と水防関係機関 で重要水防箇所等の合同巡 視を行う。 | 引き続き 毎年実施 | ・河川管理者を中心とし、自 注 治会等が参加した重要水防 箇所の点検を実施する。 | 引き続き 毎年実施 | ・河川管理者と水防関係機能で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。 | F |
| | | 合同巡視を実施 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | も 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | | 引き続き 毎年実施 | 継続して実施 | | 【H28.6.9】重要水防箇所の合 同点検参加 | | [28.6.9]合同巡視に地元住 医も出席し重要水防箇所の 共同点検を行った。 | | 【H28.6.9】合同巡視時に参加 | 引き続き 毎年実施 | [H28.6]合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6】合同巡視時に実施 | ī |
| 毎年、関係機関が連 | 引き結ち | | の参加 ・水防工法講習会の支援等 を行う。 | 毎年実施 | ・県総合防災訓練等において 関係機関が連携した水防実 動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等 を行う。 | 毎年実施 | | 毎年実施 | - 水防団、国、県、自主防災 組織などが参加し、出水期前 に水防法に基づく水防訓練 の実施 | 有 毎年実施 | | 毎年実施 | ・出水期前にポンプ車の運転 直削線を実施し、防災削線で水 防実働削線を検討する。 | | | 引き続き 毎年実施 | | | ・市総合防災訓練時に、洪水を想定した連絡体制や水防 訓練を実施 | |
| | 毎年実施 | 訓練への参加・・水防工法講習会の 支援 | [H28.5.18]常願寺川右岸において、水防工法研修会を 施 (H28.6.4]高岡市主催の水阪 訓練(場所:高岡市革附地先 庄川右岸 中田橋下流)へ動加 | 実 毎年実施 ち も | [H28.8.27]県総合防災訓練 を実施(砺波市、小矢部市、 南砺市) [H28年度]北陸地整整備局 管内水防技術講習会への参加 | 毎年実施 | 要請のあった県、市町村の防 災訓練参加 | 引き続き毎年実施 | [H28.5.18]常願寺川右岸に おいて、水防工法研修会に 参加 [H28.5.28]富山市主催の水 防訓練を実施(場所: 富山市 磯部町二丁目地先 神通川 右岸 富山大橋上流) | 毎年実施 | [H28.6.4]水防訓練実施(中田地先) | 引き続き毎年実施 | [28.6.10]射水市の排水ポン ブ車運転講習会を行った。 [28.9.30][28.10.21]北陸地 方整備局の水防技術講習会 に参加した。 | 引き続き毎年実施 | 【H28.5.18】 : 水防工法訓練に参加 【H28.8.27】 県 · 市総合防災訓練の実施 | 引き続き毎年実施 | 【H28.8】防災訓練を実施 [| | 南砺市防災訓練及び事前割練で、水防団と一緒に実施 | |
| | | | | | | | | | ・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長名 | から検討 | ・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。 | 引き続き 実施 | ・水防活動の担い手となる消 防団員の募集を促進する。 | 引き続き 実施 | ・広報誌やホームページで水 防協力団体の募集を行う。 | 引き続き 実施 | ・水防活動の担い手となる消 防団員の募集を促進する。 | 引き続き 毎年実施 | ・他市町村の実施状況を参考に、市防災担当課と協議しながら対応を検討する。 | ŧ |
| 水防活動の担い手と る水防団員・水防協 0.c. 引 | 리충結속 | ・水防団員の募集促 *# | | | | | | | 議への依頼により、募集促進 | | | | | | | | | | | |

(**様式1−取組一覧) 庄川取組状況確認様式 4/4**

| 減災のための取組 (概ね5年 | | , | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | 富山市 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|---|-----------|--------------------------------------|--|-----------------|--|---------------------|----------|--|---------------|--|---------------|---|---------------|--------------------------------------|---------------|--|---------------|---|------------|
| シ国・県・自治体職員 | | ・水防技術講習会に | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き実施 | | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 毎年実施 | ・水防技術講習会に参加 | 弓 |
| Fを対象に、水防技術 R 精習会を実施 | 毎年実施 | 参加 | H28年9,10,11月に水防技術 基礎講座に参加 | 引き続き 実施 | 【H28年度】北陸地整整備局 管内水防技術講習会への参 加 | 引き続き実施 | | 継続して実施 | 引き続き実施 | 【H28.5.18】水防工法訓練参加 | 引き続き 実施 | 【28.9.30】【28.10.21】北陸地 方整備局の水防技術講習会 に参加した。 | 引き続き 実施 | 【H28.5.19】 水防工法訓練に参加 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請 | 砺 |
| 大規模災害時の復 | H28年度 | ・復旧活動の拠点等 | ・復旧活動の拠点等配置計 画を検討 | | ・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 | | | | | | | | | | | | | | |
| ∃活動の拠点等配置 T ∤画の検討を実施 | | 配置計画の検討 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪 水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き実施 | | | | | | | | | | | | | |
| 記慮者利用施設や大規模工場 | 場等の自衛水 | 防の推進に関する取組 | l . | | | | <u> </u> | | - | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | | П |
| 要配慮者利用施設に | 71.1.64.1 | ・要配慮者利用施設 | ・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。 | 実施 | ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | ・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。 | | | から順次 実施 | | | ・要配慮者利用施設における 避難計画策定の推進を行う。 | | | | ・要配慮者施設における避計画策定の推進を行う。 | 主葉 |
| る避難確保計画の作 M に向けた支援を実施 | 実施 | による避難確保計画 等の作成を行おうとす る際の技術的な助言 | 検討中 | 引き続き実施 | 【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4月】説明会の実施予定 | 引き続き、実施 | | 今後検討 | H29以降 | ・要配慮者施設へ情報伝達 手段としての防災情報メール の周知を実施 | | 施設を所管する担当部署へ 計画策定の必要性について 説明し、各施設への働きかけ を依頼した。 | 施 | 検討中 | 引き続き実施 | 【H28.12】避難計画有無を確認 | 引き続き実施 | 検討中 | _ |
| 大規模工場等への | 司士结士 | ・大規模工場等への浸水リスクの説明や | ・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技 術的な助言を行う。 | 実施 | ・作成に必要な情報(浸水想 定区域の浸水深、浸水継続 時間等)の提供 | | | ・大規模工場等への技術的助言を行う。 | | ・ハザードマップを活用し、大 規模工場等への浸水リスク の説明と水害対策等の啓発 活動を行う。 | | | | ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓 発活動を行う。 | | | | | |
| と水リスクの説明と水 K 民対策等の啓発活動 | 実施 | 浸水リスクの説明や 水害対策など技術的 な助言 | 検討中 | 引き続き実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 | | | 今後検討 | H29以降 | 検討中 | 引き続き 実施 | | | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | |
| 策の主な取組 ④社会経済に | 活動を取り戻 | すための排水活動及で | 旅設運用の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 爰・救助活動の効率化に関する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | H |
| 大規模災害時の救 | | . 广·建士·阿加上第四 | ・広域支援拠点等の検討支援 | | ・検討に必要な情報(浸水想 定区域の浸水深、浸水継続 時間等)の提供 | | | | | ・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配置等を検討する。 | | | | | | ・新たな浸水想定に基づき現 行の地域防災計画等の見直 しを検討する。 | | | it |
| 援・救助活動等支援の G,U とめの拠点等配置計画 D検討を実施 | から検討 | ・広域支援拠点等の 検討支援 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪 水浸水想定区域図を作成中 | 引き続き実施 | | 今後検討 | H29以降 | ・受援計画策定に向けて、情報収集を実施 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | _ |
| (計画(案)の作成及び排水訓 | ∥練の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大規模水害を想定し | H28年度 | 排水ホンノ単の週切 | ・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 | | | | | ・排水ポンプ車の配置計画を 再検討 | H29年度 から検討 | ・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置箇 所の選定を行う。 | H28年度 から検討 | ・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置箇 所の選定を行う。 | H28年度 から検討 | ・大規模水害を想定した排水 計画(案)の検討を実施 | H28年度 から検討 | ・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置箇 所の選定を行う。 | H28年度 から検討 | ・大規模水害を想定した排 計画(案)の検討を実施 | 기 |
| 注川排水計画(案)の U,V 討を実施 | から検討 | な配置計画などを検討 | 検討中 | 引き続き実施 | 検討中 | 引き続き実施 | | 今後検討 | H29以降 | 【H28.6.29】 国、県と合同で 排水ポンプ車設置箇所の現 地確認 | | 検討中 | 順次実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | |
| 地下街が浸水した場 | H28年度 | ・地下街が浸水した場 | | F H28年度 から検討 | | | | | | ・地下街への浸水を想定した 避難計画及び排水計画(案) の必要性を検討する。 | | | | | | | | | |
| (の排水計画(案)の V 計を実施 | から検討 | 合の排水計画(案)の 検討支援 | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | |
|)排水ポンプ車の出動 | 司去结牛 | ・毎年、出水期前に県・市・町と連携して | ・毎年、出水期前に県・市・町 と連携して連絡体制の整備を 行い、情報共有を図る | 毎年実施 | | 引き続き実施 | | 機関と連絡体制の情報共有を図る。 | 実施 | 車出動要請の連絡体制の確認を行う。 | 毎年実施 | 連絡体制の整備を行う。 | 毎年実施 | 絡体制の確認を実施 | 毎年実施 | ・整備済みである排水ポンプ 車出動要請の連絡体制の確認を行う。 | 毎年実施 | 絡体制等を作成する。 |) <u>į</u> |
| 請の連絡体制等を整V | 毎年実施 | 票・市・町と連携して 連絡体制の整備、情 報共有 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を 実施 | 実施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を 実施 | 引き続き実施 | | 【H28.4.21】水防連絡会にて 確認 | 引き続き実施 | 【H28.5.27】 洪水対応演習に て実施 | 引き続き実施 | 【H28.4.21】水防連絡会で連 絡体制の整備、情報の共有 化が行われた。 | 引続き実 施 | 【H28.4.21】水防連絡会にて 確認 | 引き続き 実施 | [H28.5]確認済み | 引き続き 毎年実施 | 引続き検討 | _ |
| | | ・実践的な操作訓練 や排水計画に基づく | | 1 | 練等への参加 | | | ・水防法に基づく水防訓練の実施 | 引き続き実施 | ・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。 | 順次実施 | ・河川管理者が行う操作訓練 に参加 | 順次実施 | 水防訓練と合同で訓練を検討 | 順次実施 | i ・河川管理者が行う操作訓練 に参加 | 順次実施 | - 河川管理者が行う操作訓 に参加 | IIá |
| 関係機関が連携した 水実働訓練の実施 | 順次実施 | 排水訓練の検討及び 実施 ・水防管理団体が行う | 【H28.5.18】常願寺川右岸に おいて、水防工法研修会を実施 | 引き続き 実実施 | 【H28年度】北陸地整整備局 管内水防技術講習会への参 加 | 引き続き実施 | | 【H28.5.28】富山市主催の水 防訓練を実施(場所:富山市 磯部町二丁目地先 神通川 | 引き続き 実施 | 【H28.6.4】水防訓練実施(中田地先) 【H28.7.26】 操作訓練実施 | | 【28.12.21】富山河川国道事 務所の災害対策車両訓練が 行われた。 | | 【H28.5.18】 水防工法訓練に参加 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請 | 砺 |

(**様式1−取組一覧) 小矢部川取組状況確認様式 1∕5**

| 減災のための取制 (概ね5年間) | | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|---|---------------|---|---------------------|--|---------------------|---------|----|--|-------------|---|--------|---|---------------|---------------------------------------|---------------|---------------------------------------|---------------|
| 事項内容 | 3 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 |
| ハード対策の主な取締 | 組 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■洪水を河川内で安 | 全に流す対象 | 策 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ・洪水を河川内で安全に流すた めのハード対策を推進する。 | 引き続き実施 | | | | | | | | | | | | |
| 浸透対策パイピング対:堤防整備 | 策 | 小矢部川:3.6km実施済み。 | 引き続き実施 | 谷内川:護岸L=1,129m 小矢部川水系和田川:護岸 L=49m 黒石川:護岸L=243m 横江宮川:護岸L=38m 中川:護岸L=30m 小矢部川:護岸L=38m、根継 L=173m | 引き続き実施 | | | | | | | | | | | | |
| | | ・防災拠点等の整備を検討する | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| ■危機管理型ハード | · 対策 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・越水が発生した場合でも決壊。 での時間を少しでも引き延ばす 危機管理型ハード対策を推進す る。 | 実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・堤防天端の係 | 长 護 | 小矢部川:25.5km実施済み。 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| ■周知·理解促進、過 | 壁難行動、水 | トレイン 防活動、排水活動に資する基 | 基盤等の整 | 整備 | | | | 1 | | | | | | | - | | |
| | | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き実施 | 水防パトロールにて水防倉庫の 備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き実施 | | | ・河川管理者と連携を図り、水防 資機材配備状況の確認や整備 を実施する。 | 実施 | ・河川管理者や水防管理者(庄 川水害予防組合)と連携し、水防 資機材の配備状況を確認し整備 を行う。 | から検討 | ・河川管理者や水防団と連携を 図り水防資機材の配備状況の確 認を行う。 | H29年度 から検討 | ・河川管理者と連携し水防資機 材の配備状況の確認を実施す る。 | H28年度 から検討 | ・河川管理者や水防団と連携を 図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 | H29年 准 から検 |
| QW +47+ 7.111 | 11 + de P+ 28 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | 引き続き実施 | [H28.6.9]合同巡視時仁実施 [H28.5.25]高岡土木管内河川施 設点検 [H28.6.1]砺波土木管内河川施 設点検 [H28.5.27]小矢部土木管内河川 施設点検 | 実施 | | | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 出水期前に資機材配備状況を確 認し不足する資材を補充 | 引き続き ミ実施 | 【28.69】合同巡視に参加し水防 資材を確認した | 引き続き実施 | | | /【H28.6】合同巡視時に実施 | 引き続き実施 | | |
| ①新技術を活用機材の検討及び | 配備 | ・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備 | 資 H28年度 から検討 | 水防パトロールにて水防倉庫の 備蓄材などの合同巡視を実施 | 引き続き実施 | | | | | | | | | | | | |
| | | 検討中 | 引き続き実施 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H28.5.25】高岡土木管内河川施 設点検 【H28.6.1】砺波土木管内河川施 設点検 【H28.5.27】小矢部土木管内河川 施設点検 | 実施 | | | | | | | | | | | | |
| ②円滑な避難活動を支援するたる | | ・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置 | H28年度 から順次 整備 | -河川監視カメラの設置(水位計 設置箇所) | H28年度 から順次 整備 | | | ・河川沿川における同報系防災 行政無線の整備を検討する。 | 引き続き実施 | | | | | | | | |
| メラ、簡易水位計 等の設置 | | 検討中 | 引き続き 実施 | 県管理の支川(水位周知河川) において施工中。 | 引き続き 実施 | | | ・現在、土砂災害危険地区を中心に整備しており、河川沿川の 整備については検討中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | |

(**様式1−取組一覧) 小矢部川取組状況確認様式 2∕5**

| 成災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|---|-----------------------------------|---------------------|---|---------------|--|--------|--|------------|--|--------------|--|------------|--|--------------|---|---------------|
| 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | В |
| 対策の主な取組 ①河川特 | 」 <mark>持有の洪水を理解するための</mark> 周 | 知•理解(| 足進の取組 | | | | | | | | | | | | | |
| 平時から住民等への周知·教 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・市の要請により、出前講座等を 積極的に行っていく。 | 別き続き実施 | ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 | 引き続き実施 | ・自治体の教育委員会と連携し、 効果的な水防の避難や訓練など 支援 | | ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 | | | 実施 | ・出前講座等で防災教育を実施する。 | | ・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 | 引き続き実施 | ・小・中学校からの依頼により、 防災教育全般として実施してい る。 | |
| ①小中学校等における水災 害教育を実施 | 後 【H28.12.9】富山工業高校生に講義 | 引き続き実施 | 検討中 県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。 | 引き続き実施 | ・【H28.12.9】高岡地区高校学校 事務職員に出前講座(天気図 等)実施 | 引き続き実施 | - 小中学校からの要望に応じ、 災教育等に関する出前講座を実施する。 | | | パ 引き続き実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| | ・市の要請により、出前講座等を 積極的に行っていく。 | 引き続き実施 | ・出前講座等を活用した啓発を 積極的に行っていく。 | 引き続き 実施 | | | ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 | | ・出前講座の活用を積極的に優きかける。 | 助 引き続き 実施 | ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 | 引き続き 実施 | ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 | 引き続き実施 | ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 | 請引 |
| ②出前講座等を活用し、水 防災等に関する説明会を開 催 | | 引き続き実施 | 検討中 県管理河川、ダムにおい て説明会等を開催してい る。 | 引き続き実施 | | | 広報誌にて出前講座の利用について周知し、要望があったとき実施する。 | | 7地区において風水害をテーマ した出前講座を実施。 | と 引き続き 実施 | | | /4カ所で出前講座等を実施 | 引き続き実施 | | |
| ③効果的な「水防災意識社 会」の再構築は立つ広報 か終料を作せ、配在 | 役立つ広報や資料を作成・配布 | H28年度 から実施 | | 順次実施 | ・関係機関と連携して効果的な 対応に協力 | 順次実施 | 「・「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報や資料を作成・配布 する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の 改定時に併せて、特集ページを 作成する。 ・ 市広報誌への掲載を検討す る。 ・ | | ・市広報紙面に記事を掲載し市 民への啓発を図る。 | ī 順次実施 | ・「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報や資料を作成・配布 | 順次実施 | ・毎年6月広報で大雨による災害 対策について特集している。 | | ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 | 管順 |
| や資料を作成・配布 | 検討中 | 引き続き実施 | 検討中 | 引き続き実施 | 要配慮者利用施設管理者への 資料作成、説明[H29.2~4] | 順次実施 | ・洪水情報のブッシュ型配信や 避難準備情報の名称変更など、 市民により分かりやすい内容と なるように周知資料の作成 | 引き続き実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 【H28.6】広報に掲載済み | 引き続き実施 | | |
| | 実施 | H27年度 から毎年 実施 | ・重要水防箇所等の共同点検の 実施 | H28年度 以降検討 | | | ・河川管理者と自治会や地域住 民で重要水防箇所等の共同点 検を実施する。 | | 河川管理者と自治会や地域付民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 | | ・河川管理者と自治会や地域住 民で重要水防箇所等の共同点 検を実施する。 | 順次毎年 実施 | ・河川管理者を中心とし、自治会 等が参加した重要水防箇所の点 検を実施している。 | | ・県と合同で毎年実施 | JI S |
| ④自治会や地域住民が参加 した洪水に対するリスクの い箇所の共同点検の実施 | 前 | | 【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会 | | | | 【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会 | | 【28.6.9】合同巡視に出席し重要 水防箇所の共同点検を行った。 | | | | 【H28.6】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | | \rightarrow |
| | を行った。 | | と共同で重要水防箇所等の点検 を行った。 ・ハザードマップ作成の基礎資料 | | | | と共同で重要水防箇所等の点材を行った。 ・ハザードマップ目前1の際に検 | | | | ・ハザードマップ見直しの際に検 | H29年度 | ・ハザードマップ目直しの際にね | | ・市財政課・防災担当課と協議 | |
| ⑤まるごとまちごとハザード | ハザードマップへの情報提供 | | となる浸水想定区域図の公表 | から順次 実施 | | | 討する。 | NR XX NE | 討する。 | X MRXXIIE | 討する。 | 以降検討 | 計する。 | nge XX ne | し、必要性の有無等について検討していく。 | · 美 |
| マップを整備 | 検討中 | 引き続き実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 | 別き続き実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| | | | 自助・共助の促進のための普及 啓発を実施するとともに、市町村 と連携して自主防災組織の資機 材整備や避難訓練等を支援 | 実施 | | | ・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、 出前講座・水防災訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災 | | ・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。 | 力 | ・住民の防災意識を高めるため に研修会の実施や防災士による 訓練指導等の実施 | | ・自主防災組織への情報提供を 進める。 | 引き続き 毎年実施 | ・平成28年3月29日に防災土6 有志により「防災こころえ隊」を記立した。当隊は、自主防災組織 からの派遣要請に基づき、各種 訓練に参加のうえアドバイスをすることで、自主防災組織の活性 | 設職種がする |
| ⑥住民の防災意識を高め、 地域の防災力の向上を図る | | | | | | | 士を育成する。 | | | | | | | | 化につながっている。今後も積 的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図る。 | 極と |
| ための自主防災組織の充実 | * | | 【H28年度】 自主防災組織の資機材整備や 避難訓練等の支援を実施 | 引き続き 実施 | | | ・自主防災組織等の結成率の向上。 ・自主防災組織の要となる防災土を育成。 | 引き続き 実施 | ・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材。 して防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活 | <u>ا</u> | | | 【H29.1】防災講演会を実施予定 | 引き続き実施 | | |

(**様式1−取組一覧) 小矢部川取組状況確認様式 3∕5**

| 咸災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|---|---|--------------|---|------------|--|------|--|---------------------|---|---------------------|---|--------------------------|----------------------------------|---------------------|--|-------------------|
| 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 |
| ト対策の主な取組 ②迅速が | つ確実な避難行動のための取 | 組 | | | 1 | | 1 | | I | ı | | | 1 | | ı | |
| 青報伝達、避難計画等に関す | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①リアルタイムの情報提供 やブッシュ型情報の発信な 防災情報の充実 | 及びスマートフォンを活用した情報発信 ・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 | り本とは見り | 富山県総合防災システムによ 」、「県と参加可能な国・市町 」、「県と参加可能な国・市町 」、「原民を機関等がリアルタイ なで閲覧、書込み、情報共有を 軽施。②また、Lアラート等を活 相し、報道機関等との連携により 主民等へ被害情報等を迅速・的 権に供。 河川情報システムの改良帯端 に一般向けのシステムの実施 一般向けの緊急速報メール配 言の実施 | 実施 | ・気象警報・注意報等を発表し、 現象ごとに警戒、注意期間及び 雨のピーク時間帯、量などの予 想最大値を周知し、必要に応じ て、自治体、関係機関に情報伝 達(ホットライン)を実施。 | 順次整備 | ・高岡市防災情報メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。また、エリアメール、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送を活用する。 | 引き続き実施 | ・防災行政無線を整備し屋外拡 声子局を56局(親局を含む)か ら113局に増やし、一斉放送に よる音達エリアを拡充する。ま た、放送内容と同じものをエリア メールや登録制のメール配信、C ATVのL字放送、コミュニティFM の割り込み放送で配信するシス テムを整備する。 | | ・登録制である砺波市緊急メールについて、更なる普及のため市民に周知及び広報を行う。 | 順次整備 | - 登録制メールの普及 | H28年度 から実施 | ・携帯電話及びパソコンのメール・を利用とた緊急メールの登録について、更なる普及を目指LPRしていく。 ・既存の防災行政無線をデジタル化するとともに、装聴エリア解消にむけて屋外拡声子局の増設も行う。 ・新たな情報発信ツールを整備していく(防災アブリの開発)。 | |
| | •H29.5.1~の配信に向けて、手 続き中 | 実施 | H28.8.1]新たな富山県総合防 炎システムの運用開始。 河川情報システムの更新作業 中 | 引き続き実施 | ・【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ 情報文、伝文の変更。 | 順次整備 | ・高岡市防災情報メールに、指定河川洪水予報情報を追加 ・Lアラートを活用した、防災情報 の提供を8月1日に開始 | 実施 | 9月26日から順次運用開始。H29 年2月に工事完了。 | 整備済 | | | Yahoo防災情報での「自治体からの緊急情報」提供開始 | 引き続き実施 | | |
| ②各関係機関が参画した 「庄川・小矢部川タイムライ 検討会」における急流河川 の特性を踏まえた大規模か 害時のタイムライン(事前防 | 検証と改善・必要に応じて、水位情報等の提供など | 1 | こ必要な水位情報等の提供 | | ・富山河川国道事務所、富山県 及び関係市町村と共同で整備・ 改善を支援 | | 実施、洪水対応マニュアルの見 直しを実施する。 | 実施 | の避難勧告等判断伝達マニュア ルの見直すなど、タイムラインを 意識した避難対策となるよう改善 を図る。 | | 策定済み。河川管理者及び関係 機関と連携して改善等を図る。 | / 引き続き 実施 | 実施する。 | から実施 | ・防災計画のタイムライン策定時期と合わせ水防計画において策定する。 | 順次多 |
| 当時のタイムフィン(事前が 災計画)の策定と検証及び 改善 | | 引き続きが実施 | 食討中 | 引き続き実施 | 台風接近時に防災気象情報を発表し改善、修正点を抽出し、関係機関と調整。 | | ・平成29年度小矢部川の浸水想 定公表後に洪水対応マニュアル の見直しを実施予定 | | 検討中 | 順次整備 | | | 改善済み | 実施済 | |] / |
| ③想定最大規模も含めた決 壊地点別浸水想定区域図 場等氾濫想定区域 公表(浸水ナビ等による公 | . 想定最大規模隆雨の氾濫シ | から実施 | | | | | | | | | | <u>/</u> | | | | |
| 表) | ・洪水浸水想定区域図の策定・ 公表に向け検討中 | | 想定最大規模降雨による洪水浸 k想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | |
| ④立ち退き避難が必要な区 | ・浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の情報提供を行う。 | から実施 斜 | | | | | 退き避難が必要な区域を検討する。 ・避難所ごとに水害時の浸水深 や避難の可否について確認を行 う。 ・広域避難のほかに垂直避難等 | H29年度 から順次 実施 | ・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち 退き避難が必要なエリアを検証 し、現行の避難勧告等判断伝達 マニュアルを見直す。 | から順次 | ・浸水深、浸水維続時間及び家 屋倒壊危険区域等により、立ち 退き避難が必要な区域を検討す る。 | から順次 | ・最短到達時間によっては垂直 避難をすることも考慮し検討 | から順次 | ・浸水想定区域図等の公表を踏まえ、避難所ごとに水害時の浸水深、避難所ごとに水害時の浸水深、凝難の可否、及び経路について検証していく。 | から順 |
| 域及び避難方法の検討 | 公表に向けて検討中 | | 想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | 柔軟な避難方法検討する。 ・平成29年度小矢部川の浸水想 定公表後に検討 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| | ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 | から順次 🛭 | 区域の浸水深、浸水継続時間 | から順次 | | | ・県西部6市と連携し、広域避難 計画を検討する。 | から順次 | ・参加市・町で連携し広域避難に関する検討を行う。 | から順次 | ・国、県、関係市町村と連携し、計画規模洪水に対する広域避難 | 度から順 | ・県、関係市と連携し検討 | から順次 | 隣接市とも協議しながら検討して | |
| ⑤参加市町村による広域選 難計画の策定及び支援 | 皇 | 実施 | 寿) の提供 | 実施 | | | | 実施 | | 実施 | 計画を広域避難計画を検討・策定する。・コ、県、関係市町村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を広域避難計画を検討・策定する。 | 次実施 | | 実施 | u. | 次実施 |
| | 検討中 | | 想定最大規模降雨による洪水浸 k想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | ・平成29年度小矢部川の浸水想 定公表後に検討 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| | ・ハザードマップポータルサイト の周知と活用を促進 | から実施 🛭 | 区域の浸水深、浸水継続時間 | | | | | | ・洪水ハザードマップの見直しを 検討する。 | H29年度 から順次 実施 | ・洪水ハザードマップの見直しを 行い、全戸配布により周知する。 | / H29年度 以降順次 実施 | ・洪水ハザードマップを更新し、 全戸配布することにより周知 | H29年度 から順次 実施 | ・洪水ハザードマップの見直しを 検討する。 | H29年 から順 実施 |
| ⑥広域的な避難計画等を原映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知 | | 引き続き 実施 オ | 想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中 | 引き続き 実施 | | | ・平成29年度小矢部川の浸水想 定公表後に実施予定 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |

(**様式1−取組一覧) 小矢部川取組状況確認様式 4∕5**

| 災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|--|--|--------------|---|--------------|---|--------------|--|--------------|---|--------------|---|---------------|-------------------------------|--------------|--|---------------|
| 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | |
| | ・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う | 引き続き 実施 | | | | | | | | | | | | | | \dashv |
| ⑦水位予測の検討及び料 D向上 | 検討中。システム改良済。 | 引き続き実施 | | | | | | | | | | | | | | \rightarrow |
| | | <i></i> | | | ・「危険度を色分けした時系列」と | H29年度 | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | 「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供 | | | | | | | | | | | |
| ③防災気象情報の改善 | | | | | 「在除在+在八山 + 吐不利。」 | 1100左车 | | | | | | | | | | |
| | | | | | ・「危険度を色分けした時系列」と 「警報級の可能性」を、防災情報 提供システムで試行提供中 | H29年度 | | | | | | | | | | |
| 対策の主な取組 ③洪水 | 記濫による被害の軽減及び避難 | 時間の確何 | <mark> 保のための水防活動等の取組</mark> | B | | | | | | | | | | | | |
| 防活動の効率化及び水阪 | 坊体制の強化に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報 伝達訓練を実施する。 | | ・情報伝達訓練の実施 | 引き続き毎年実施 | ・情報伝達訓練等への支援 | | ・河川管理者と市、消防本部、消防の連絡体制を確認し、河川 管理者が行う情報伝達訓練に参 | | | | ・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 | | | | ・市防災訓練時に併せて、訓練できないか検討し、実施に向け取組む。 | |
| | | | | | | | 加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の参集訓練を実施す | | | | | | | | | |
| | | | | | | | る。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消 | | | | | | | | | |
| ①水防団等への連絡体制 作認と首長も参加した実践 対な情報伝達訓練の実施 | 銭 | | | | | | して、火きメール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。 | | | | | | | | | |
| | | | | | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | | 運営訓練を実施し、災対本部員 | | 認した。 | 引き続き 毎年実施 | | / | 【H28.8】災対本部運営訓練、情報伝達訓練 | 引き続き 毎年実施 | | / |
| | | | | | | | 及び事務局員に向けた、参集 メール配信を実施 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | | 【28.5.27】洪水対応演習で情報 伝達訓練に参加した。 | | | | 【H28.11】職員参集訓練 | | | |
| | ・重要水防箇所等の合同巡視を 実施 | 引き続き毎年実施 | | | ・共同で参加し、重要危険箇所 等把握に努め意識共有を計りソ | | | | ・河川管理者と水防関係機関で 行われる、重要水防箇所等の合 | | | | ・河川管理者を中心とし、自治会 | | ・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の・ | |
| ②自治体関係機関や水防 が参加した洪水に対する | 方団 | 以中央 地 | | 以中 天池 | フト面では早めの避難行動、水 防に役立てる | 以 | 実施する。 | 以中 大心 | 同巡視に参加する。 | 毋干天旭 | 主要が関ロが守めら同心化という。 | 毋 千天池 | 検を実施している。 | | 同巡視に参加する。 | |
| アッ加のたがホーステップ アの高い箇所の合同巡視 実施 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.2~3】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.6.9】 重要水防箇所の合同 点検参加 | 引き続き 毎年実施 | 【28.6.9】合同巡視に出席し重要 水防箇所の共同点検を行った。 | 引き続き 毎年実施 | | | 【H28.6.9】合同巡視時に実施 | 引き続き 毎年実施 | | _ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | _ |
| | ・水の官理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行 | 毎年実施 | ・県総合防災訓練等において関 係機関が連携した水防実動訓練 等を実施 | | ・安請による訓練への支援 | 毎年実施 | ・毎年行っている実働水防訓練 | 毎年実施 | ・田水期前にポンノ単の連転訓練を実施し、防災訓練で水防実 働訓練を検討する。 | 日本表施 | ・関係候関が連携した水防美働訓練等の検討する | 51さ続さ 毎年実施 | ・毎年防災訓練を実施 | 毎年実施 | ・市総合防災訓練時に、洪水を 想定した連絡体制や水防訓練 実施 | と 東を |
| | う。 | | ・水防管理団体が行う訓練への参加・水防工法講習会の支援等を行 | | | | の内容を検討する。 | | | | | | | | | |
| 3毎年、関係機関が連携 おななまた | - | | う。 | | | | | | | | | | | | | |
| と水防実働訓練等を実施 | H28.5.18]常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H28.6.4]高岡市主催の水防訓 | 引き続き 毎年実施 | 【H28.8.27】県総合防災訓練を実施(砺波市、小矢部市、南砺市) 【H28年度】北陸地整整備局管内 | 毎年実施 | 要請のあった県、市町村の防災訓練参加 | 引き続き 毎年実施 | | 引き続き 毎年実施 | 【28.6.10】射水市の排水ポンプ車 運転講習会を行った。 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整 | 引続き実 施 | | | 【H28.8】総合防災訓練 | 引き続き 毎年実施 | | 7 |
| | 練(場所:高岡市葦附地先 庄川右岸 中田橋下流)へ参加 | | 水防技術講習会への参加 | | | | | | 備局の水防技術講習会に参加した。 | | | | | | | |
| | | | | | | | ・水防活動の担い手となる消防 団員の募集を促進する。 | | ・水防活動の担い手となる消防 団員の募集を促進する。 | 引き続き 実施 | ・広報誌やホームページで水防協力団体の募集を行う。 | | ・水防活動の担い手となる消防 団員の募集を促進する。 | 引き続き 実施 | に、市防災担当課と協議しなか | |
| ①水防活動の担い手とな k防団員・水防協力団体 | | | | | | | 消防団員優遇支援事業の実施。 | 引き締き | ホームページ等で消防団員の募 | 引き続き | | , | 【H28.10】消防団サポート事業制 | 目 引き続き | 対応を検討する。 | _ |
| 募集・指定を促進 | | | | | | | HP、SNSを活用した広報により | 実施 | 集を行っている。 | 実施 | | | 始 | 実施 | | |

(**様式1−取組一覧) 小矢部川取組状況確認様式 5/5**

| 災のための取組項目 (概ね5年間) | 北陸地整 | | 富山県 | | 富山地方気象台 | | 高岡市 | | 射水市 | | 砺波市 | | 小矢部市 | | 南砺市 | |
|--|--|--------------|--|---------------------|---------|----|---|---------------------|---|---------------------|--|---------------------|--|---------------------|---|----------------------------|
| 内容 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 時期 |
| ⑤国・県・自治体職員等を対 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き実施 | | | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き 毎年実施 | ・水防技術講習会に参加 | 引き続き実施 |
| 象に、水防技術講習会を実 施 | H28年9,10,11月に水防技術基礎 講座に参加。 | 引き続き 実施 | 【H28年度】北陸地整整備局管内 水防技術講習会への参加 | 引き続き実施 | | | 【H28.5.18】水防工法訓練参加 | 引き続き 毎年実施 | 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整 備局の水防技術講習会に参加し た。 | 引き続き ,実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| ⑥大規模災害時の復旧活動 の拠点等配置計画の検討を | 検討 | から検討 | 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | から順次 実施 | | | | | | | | | | | | |
| 実施 | 楼 討中 | 引き続き実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 | 実施 | | | | | | | | | | | | |
| ⑦大規模水害を想定した小 | え排水ポンプ車の適切な配置計 画などを検討 | | ・排水ポンプ車の出動要請に基 づく出動可能箇所の検討 | 引き続き実施 | | | | | ・排水施設等の情報を確認・共 有し、排水ポンプの設置箇所の 選定を行う。 | | | H29年度 から検討 | ・排水施設等の情報を確認・共 有し、排水ポンプの設置箇所の 選定を行う。 | H28年度 から検討 | ・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施 | 計 H29年 から検 |
| 矢部川排水計画(案)の検討 を実施 | 検討中 | 引き続き 実施 | 検討中 | 引き続き実施 | | | 【H28.6.29】国、県と合同で排水 ポンプ車設置箇所の現地確認 | 引き続き 実施 | 検討中 | 順次実施 | | | 検討中 | 引き続き 実施 | | |
| ⑧排水ポンプ車の出動要請 | ・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。 | 引き続き 毎年実施 | -連絡体制の確認 | 引き続き 実施 | | | ・整備済みである排水ポンプ車 出動要請の連絡体制の確認を 行う。 | | | | ・河川管理者と連携を図り、連絡 体制の整備を行う。 | | ・整備済みであり、連絡体制の社認を行う。 | | ・排水ポンプ車出動要請の連絡 体制等を作成する。 | 絡 引き続 毎年実 |
| の連絡体制等を整備 | | | 【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 | | | | 【H28.5.27】洪水対応演習にて実施 | 引き続き実施 | 【H28.4.21】水防連絡会で連絡体 制の整備、情報の共有化が行わ れた。 | | | | 【H28.5】確認済み | 引き続き 毎年実施 | | |
| | ・実践的な操作訓練や排水計画 に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練 等への参加 | 順次実施 | ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 | 順次実施 | | | ・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。 | 順次実施 | ・河川管理者が行う操作訓練に 参加 | 順次実施 | ・河川管理者が行う操作訓練に 参加 | 順次実施 | ・河川管理者が行う操作訓練に 参加 | 順次実施 | ・河川管理者が行う操作訓練に 参加 | に順次実 |
| ⑨関係機関が連携した排水 実働訓練の実施 | [H28.5.18]常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 [H28.6.4]高岡市主催の水防訓練(場所:高岡市葦附地先 庄川 右岸 中田橋下流)へ参加 | 引き続き実施 | [H28年度]北陸地整整備局管内 水防技術講習会への参加 | 引き続き 実施 | | | [H28.6.4]水防訓練実施(中田地 先) [H28.7.26]操作訓練実施(四屋 地先) | 別き続き実施 | 【28.9.30】【28.10.21】北陸地方整 備局の水防技術講習会に参加し た。 | | | | 検討中 | 引き続き実施 | | |
| 配慮者利用施設や大規模工 | 場等の自衛水防の推進に関 | する取組 | | | | | | | | | | V | | | | |
| ①要配慮者利用施設による | ・要配慮者利用施設による避難 確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。 | | ・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | | ・要配慮者施設における避難計 画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮 者施設へさらなる情報伝達ツー ルを検討する。 | H28年度 から順次 実施 | ・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。 | H28年度 から順次 実施 | ・要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う。 | H29年度 から順次 実施 | ・要配慮者施設における避難計 画策定の推進を行う。 | H28年度 から順次 実施 | ・浸水想定区域図等の公表を所映させたハザードマップ等を関各施設に配布するとともに、依に応じて説明会を実施する。 | 反 H29年月 J係 から順 え頼 実施 |
| 避難確保計画の作成に向け た支援を実施 | 検討中 | 引き続き実施 | [H29.2.22]要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 [H29.4月]説明会の実施予定 | | | | ・要配慮者施設へ情報伝達手段 としての防災情報メールの周知 を実施 | | 施設を所管する担当部署へ計画 策定の必要性について説明し、 各施設への働きかけを依頼し た。 | 引き続き実施 | | | 【H28.12】避難計画の有無確認 | 引き続き実施 | | 1 |
| ②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の | ・大規模工場等への浸水リスク の説明や水害対策など技術的な 助言を行う。 | 引き続き 実施 | ・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供 | H28年度 から順次 実施 | | | ・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明 と水害対策等の啓発活動を行う。 | | | | ・大規模工場等への浸水リスク の説明と水害対策等の啓発活動 を行う。 | H29年度 から順次 実施 | | | | |
| スクの説明と水害対策等の 啓発活動 | 検討中 | 引き続き 実施 | 想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中 | 引き続き実施 | | | 検討中 | 引き続き実施 | | | | | | | | |

| カテゴリ | 危機管理型ハード対策 |
|------|------------|
| 内 容 | 堤防天端の保護 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川において、堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす対策を推進している。

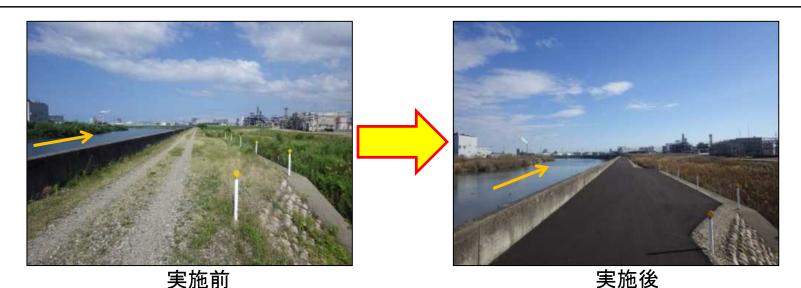
【実施概要】

・内 容:平成28年度実施延長 ① 常願寺川 5.5km

② 神通川 34. 2km

③ 庄川 17. 4km

② 小矢部川 25.5km



富山県高岡市向野本町地先(小矢部川)

北陸地整

| カテゴリ | 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置 |
|------|---|
| 内 容 | CCTVカメラ、簡易水位計及び量水標の設置 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

平成28年度は、常願寺川及び神通川水系井田川において水防上危険な箇所に簡易水位計および 量水標を設置した。また、常願寺川においてCCTVカメラを設置した。

【実施概要】

•内 容:平成28年度設置箇所

③ 常願寺川

① 常願寺川 左岸8. 4k付近、右岸9. 7k付近

② 神通川水系井田川 左岸5. 6k付近、右岸6. 0k付近

左岸8.8k付近(CCTVカメラ)



常願寺川左岸8.4 k付近



井田川左岸5.6 k付近



井田川右岸6.0 k付近

| カテゴリ | 小中学校等における水災害教育を実施 |
|------|-------------------|
| 内 容 | 小学校への出前講座を実施 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

富山市立桜谷小学校の6年生を対象に「神通川の氾濫からくらしを守る」と題した出前講座を開催した。 あわせて、防災教育支援として教職員に向けた各種資料(浸水想定区域図、河川の歴史を題材と した副読本)を提供した。

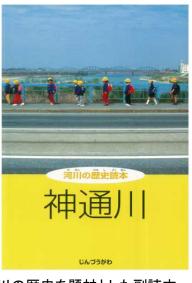
【実施概要】

- 日時:平成28年12月6日(火) 10:30~11:30
- 内容: ① 過去の神通川の洪水について
 - ② 神通川はなぜ危険なのか
 - ③ どんな対策をしているのか
 - ④ みなさんは洪水の時にどうすればよいのか

●出前講座の様子



●教職員を対象とした資料提供



河川の歴史を題材とした副読本



浸水想定区域図(想定最大規模)

北陸地整

| カテゴリ | 出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 |
|------|--------------------------|
| 内 容 | 自治会等を対象に出前講座を実施 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

直轄管理区間沿川の自治会等を対象に、流域の減災に関する取組等について、出前講座を随時実施している。

【実施概要】

- 日 時: ① 平成28年9月11日(日) 9:10~ 9:40 角自主防災会
 - ② 平成28年9月25日(日) 13:30~14:30 町村自治会
 - ③ 平成28年11月24日(木)19:00~20:30 草島校下防犯・防災連絡協議会
 - ④ 平成29年 1月19日(木) 15:05~16:00「防災とボランティア週間」防災講演会
 - ⑤ 平成29年 3月28日(火)14:15~14:45 庄川水害予防組合
- ・内 容:① 庄川の治水・水防に関する最近の話題
 - ② 常願寺川の治水・水防に関する最近の話題
 - ③ 神通川流域の減災に関する取組について
 - ④ 防災における最近の課題と取り組み
 - ⑤ 庄川流域における防災・減災の取り組み



出前講座の様子 (草島校下防犯・防災連絡協議会)

北陸地整

| カテゴリ | リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実 |
|------|---------------------------------|
| 内 容 | プッシュ型の洪水予報等の情報発信 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

富山県内の11市町村において、「河川氾濫のおそれがある情報」及び「河川氾濫が発生した情報」のプッシュ型配信を平成29年5月1日より順次開始した。

※プッシュ型配信:受信者側が要求しなくても、発信者側から情報が配信される仕組み

【実施概要】

・運用開始日:平成29年5月1日(月)(小矢部川水系を除く4水系)

平成29年5月22日(月)(小矢部川水系)

内 容:①配信対象 富山県内の国管理河川5水系11市町村

②配信対象者 対象内の携帯電話等のユーザー

③配信情報 配信対象河川における「河川の氾濫のおそれ」「河川氾濫発生

(越流)」「河川氾濫発生(堤防決壊)」の3段階の洪水情報



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

②- i 河川氾濫発生 (河川の水が堤防を越えて流れ出ている時)

【見本】

(件名)

河川氾濫発生

(本文)

○○川の○○市○○地先(左岸、東側)付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。 防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、 各自安全確保を図るなど、適切な防災行動を とってください。

本通知は、〇〇地方整備局より浸水のおそれ のある市町村に配信しており、対象地域周辺 においても受信する場合があります。

(国土交通省)

配信文案例

北陸地整

| カテゴリ | 想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の公表(浸水ナビ等による公表) |
|------|--|
| 内 容 | 洪水浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図等の策定・公表 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所 |

富山河川国道事務所は、常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川について、想定最大規模降雨による 洪水浸水想定区域図等をホームページに掲載している。

【実施概要】

· 日時: 平成28年6月20日(月)(常願寺川、神通川、庄川)、平成29年4月17日(月)(小矢部川)

内容: 常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の

見直し等を実施、ホームページにより公表



想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の見直しについて(平成28年6月) 今回の洪水浸水憩定区域の見直しは、平成27年に水防法が改正されたことを受け、従来公表してきた洪水浸水憩定区域につい て、想定意大規模の得用によるものへ振まするものです。 こうした同川号電路設の計画規模を上回るような流水に対しては、現実行ってきたハード対策と呼せ、避難等のソフト対策の実施 が更に重要えなります。少なくもら命を与り、社会を漏上がして電域的な被害を発生させない「減災」の観点で社会会体として否り組 なお、富山河川国道事務所では、平成27年の開東・東北豪雨の状況等も踏まえ、「常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川大規模 北部に関する減少対策協議会」を平成28年4月21日に設置し、流域の関係機関と減災のための目標を共有した上で、対策に取り組んでいきます。詳しくは下部URLよりご確認下さい。 とやまの洪水湯水規定区域区 神道川 + 西深川 井田川 浸水想定区域図(想定最大規模) 回面 國産 回面 想定最大規模 家屋侧壊氾濫想定区域図(氾濫流) 図車 國面 國面 図画 図画 図面 想定最大規模 提水想定区域回参考図(想定最大規模) 図面 図面 國面 支川溢水を考慮 最大流速物定図(物定最大規模) 最短到達時間想定図(想定最大規模

サイト内のリンク先で公表

北陸地整

| カテゴリ | 毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施 |
|------|---------------------------|
| 内 容 | 川倉工、シート張り工、土嚢積み工法の水防工法を実施 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所水防連絡会 |

富山河川国道事務所と水防連絡会を構成する自治体の消防署等が参加し、水防団員への指導等を目的に、川倉工等の水防工法の訓練を行っている。

【実施概要】

· 日 時: 平成28年5月18日(水) 9:30~12:00

・参加者:管内沿川7自治体、富山河川国道事務所、防災エキスパート(講師)等

•内 容:①川倉工

② シート張りエ

③土嚢積みエ







北陸地整

| カテゴリ | 国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施 |
|------|---------------------------|
| 内 容 | 水防技術講習会に参加 |
| 実施主体 | 国土交通省北陸地方整備局 |

水防技術に関する専門技術の習得と組織の中核となって習得した技術を普及する職員の育成を目的に、"水防技術基礎講座"に参加した。

【実施概要】

日時:第4回:平成28年9月30日(金) 富山会場

第5回:平成28年10月21日(金) 富山会場

第6回: 平成28年11月28日(月)~29日(火) 新潟会場

内容: ①講義 ②縄結び ③月の輪エ ④シート張エ ⑤木流しエ ⑥積土のうエ

•参加機関: 北陸地整、富山県、高岡市、射水市、立山町、滑川市







縄結び 積土のう工 木流し工

| カテゴリ | 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 内水被害の発生が予想される危険箇所を合同調査 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所、富山市 |

神通川流域で内水被害発生の危険性が高い10箇所について、富山市、事務所防災課、有沢出張所、 委託業者で現地調査を実施した。仲井川水門、有沢水門を最重要箇所と位置づけている。

【実施概要】

• 日 時:平成28年6月24日(金) 10:00~11:30、14:00~16:00

•参加者:事務所(防災課,有沢出張所,委託業者)、富山市 防災対策課 計11名

・内 容:① 危険箇所の状況を知る(情報共有)

②問題・課題を把握して改善を図る



仲井川水門(市)の呑口、排水ホース



呑口、排水ホース(市)確認の様子



有沢水門(市)

| カテゴリ | 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 内水被害の発生が予想される危険箇所を合同調査 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所、高岡市 |

庄川、小矢部川流域で内水被害発生の危険性が高い5箇所について、高岡市、事務所 防災課、2出 張所、委託業者で現地調査を実施をした。地久子川、四屋川を最重要箇所と位置づけている。

【実施概要】

- 日 時:平成28年6月29日(水) 14:00~16:00

•参加者:事務所(防災課,大門出張所,高岡出張所,委託業者)高岡市 土木維持課 計18名

・内 容:① 危険箇所の状況を知る(情報共有)

② 問題・課題を把握して改善を図る



地久子川(樋門から上流を望む)



高岡市 土木維持課からの説明



四屋川(樋門から上流を望む)

| カテゴリ | 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 内水被害の発生が予想される危険箇所を合同調査 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所、射水市 |

庄川流域で内水被害発生の危険性が高い4箇所について、射水市、事務所 防災課、大門出張所、委 託業者で現地調査を実施をした。(和田川 大門6号水門、二の丸川(準用河川)水門他)

【実施概要】

• 日 時:平成28年8月5日(金) 14:00~16:00

・参加者:事務所(防災課,小矢部出張所,委託業者)射水市 河川・道路管理課 計10名

・内 容:① 危険箇所の状況を知る(情報共有)

② 問題・課題を把握して改善を図る



和田川 大門6号水門(県) 調査の様子



大門6号水門(県) 背後地の状況



二の丸川水門(市)調査の様子

| カテゴリ | 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 内水被害の発生が予想される危険箇所を合同調査 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所、小矢部市 |

小矢部川流域で内水被害発生の危険性が高い5箇所について、小矢部市、事務所 防災課、小矢部 出張所、委託業者で現地調査を実施した。福町第二排水樋管、西中野排水樋管は重要箇所である。

【実施概要】

日時:平成28年8月4日(木) 13:10~15:50

•参加者:事務所(防災課,小矢部出張所,委託業者)小矢部市 建設課 計10名

・内 容:① 危険箇所の状況を知る(情報共有)

② 問題・課題を把握して改善を図る



福町第二排水樋管(国)付近 調査の様子



西中野排水樋門(国)付近 調査の様子



大型商業施設および歩道橋

富山県

| カテゴリ | 毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 県総合防災訓練の実施 |
| 実施主体 | 富山県・砺波市・小矢部市・南砺市 |

富山県砺波土木センターと南砺市、水防活動を担う地元消防団、消防署が参加し、県の総合防災訓練の一環として、土のう積工法(土のうの作成、積み上げ)を行った。

【実施概要】

日時:平成28年8月27日 10:30~11:00

参加者:富山県砺波土木センター、南砺市、南砺市消防団、南砺消防署

・内 容: ①土のう積工







土のう作成 土のう積上げ 土のう積工法

富山県

| カテゴリ | 毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 県総合防災訓練の実施、水防資材の展示等 |
| 実施主体 | 富山県・砺波市・小矢部市・南砺市 |

富山県高岡土木センター小矢部土木事務所と水防活動を担う地元消防団、消防署が参加し、県の総合防災訓練の一環として、土のう積工法(土のうの作成、積み上げ)を行った。

また、小矢部市建設業協会とともに、水防資材(蛇籠、フトン籠)の展示を行い、防災広報、 啓発を行った。

【実施概要】

日時:平成28年8月27日8:30~11:30

・参加者:富山県高岡土木センター小矢部土木事務所、小矢部市消防団、小矢部市建設業協会、

町内会

・内 容:①土のう積工 ②水防資材の展示







土のう作成 土のう積工法 水防資材展示

| カテゴリ | 防災気象情報の改善 防災気象情報の改善 |
|------|------------------------------------|
| 内 容 | 危険度を色分けした時系列や警報級の可能性、洪水警報の危険度分布の提供 |
| 実施主体 | 富山地方気象台 |

新しい防災気象情報を、平成29年度出水期に気象庁HPで提供。

【実施概要】

日 時:平成29年度出水期に提供開始

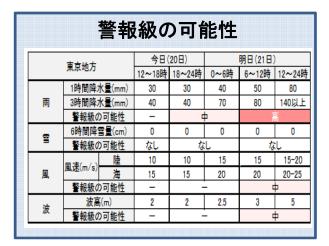
・内 容:① 危険度を色分けした時系列

② 警報級の可能性

③洪水警報の危険度分布

| x x | 500 | | | | | | | | 2000 | 0011157/5 | 表 |
|-----|-------------------|-------|-----|-----|------|-----|-----------|-------|-------|-----------|-----|
| (1 | 形表] 逐統] ××計 | 高潮 | | | 大をの推 | | 新田 | £ 03 | 10.00 | (E) | |
| 警報: | 是意中() 注意報等 | OMEN | | 0-6 | 3-6 | 8-9 | 2-12 | 12-15 | 15-18 | 13-21 | 21- |
| | 104 0 0 | 大陶量 | 10 | 10 | 30 | 30 | 50 | 50 | 50 | 30 | 4 |
| | 100.0 | (書) | | | | | | | | | 1 |
| | 明中 | 陸上 | ⑩ | € | 4 | 4 | 4 | 45 | 4 | ₹₽ | ý. |
| | (本章・ | 海上 | 俭 | €} | ₽ | 4 | 4 | 4 | 4 | ₩ | G |
| 22 | 皮膚ジ | -+n/) | 3 | 5 | | | | j | 8 | 1 | 9 |
| 16 | 単位ひ | -+10 | 0.7 | 0.7 | 0.8 | 1.0 | 1.8 | 2.0 | 1.8 | 1.2 | 1.2 |

危険度の高まりを即座に把握



早い段階からの警報級の可能性について判断



危険な地域を分かりやすく表示

高岡市

| カテゴリ | 毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 |
|------|------------------------|
| 内 容 | 水防訓練の実施 |
| 実施主体 | 高岡市 |

高岡市、水防関係機関、富山河川国道事務所、陸上自衛隊、富山県警察本部、地元自主防災連絡協議会が参加し、水防技術の向上を図るため水防訓練を行った。

【実施概要】

日時:平成28年6月4日(土)8:30~9:30

·参加者:高岡市、高岡市消防本部、高岡市消防団、富山河川国道事務所、

陸上自衛隊富山駐屯地第382施設中隊、富山県警察本部、富山県消防防災航空隊、

富山県高岡警察署、中田地区自主防災連絡協議会

内容: ① T型水防マットエ

②改良積土のうエ

③ 水難救助訓練







T型水防マットエ 改良積土のうエ

水難救助訓練

高岡市

| カテゴリ | 関係機関が連携した排水実働訓練の実施 |
|------|--------------------|
| 内 容 | 排水訓練の実施 |
| 実施主体 | 富山河川国道事務所、高岡市 |

富山河川国道事務所と高岡市職員、排水作業委託業者が参加し、排水実働訓練を行った。

【実施概要】

· 日 時:平成28年7月26日(火)13:30~16:00

•参加者:富山河川国道事務所、委託業者、高岡市

・内 容:①排水ポンプ設置箇所の検討

② 通行止め処置訓練

③ 排水作業実動訓練



設置箇所の検討



通行止め処置訓練



排水作業実動訓練

立山町

| カテゴリ | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 |
|------|----------------------------------|
| 内 容 | H19ハザードマップの見直し及び全戸配布 |
| 実施主体 | 立山町 |

平成19年度作成のハザードマップについて、最新の避難所情報、レイアウトの更新を行い、全 戸に配布した。

【実施概要】

•日 時:平成28年7月初旬

内容:最新の避難所情報掲載、降水量の変遷、QRコード掲載

・効果:浸水想定区域内居住者へ再度洪水に対する啓発、意識付け

※平成28年度国土交通省における常願寺川浸水想定区域の見直しは未反映

射水市

| カテゴリ | リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実 |
|------|---------------------------------|
| 内 容 | デジタル防災行政無線システムの整備について |
| 実施主体 | 射水市 |

全市を網羅するデジタル防災行政無線システムを整備し、災害時の市民への情報伝達手段の多様化・多重化を図った。

【実施概要】

- ・運用開始日:平成28年9月26日から運用開始。整備工事完了平成29年2月14日
- ・内 容:・屋外拡声子局の増強による音達エリアの拡充(56局→113局)
 - ・同報無線による一斉放送と複数の情報伝達媒体(情報発信エリアメール、登録制の緊急情報メール配信サービス、ケーブルテレビのL字放送、FMラジオへの割り込み放送、市ホームページ、ツイッターなど)との連動をシステム化
 - ・電話自動応答装置による同報無線一斉放送の聞き逃しテレホンサービスの導入



砺波市

| カテゴリ | 小中学校等における水災害教育を実施 |
|------|-------------------|
| 内 容 | 出前講座等で防災教育を実施する。 |
| 実施主体 | 砺波市 |

出町中学校3年4組を対象に砺波市内で想定される災害や防災対策を学びまた、避難所が開設された場合を想定し、仮設トイレや就寝場所の設営体験を行った。

【実施概要】

日時:平成28年11月10日(木)13:25~14:55

•参加者:出町中学校3年4組 37名

内容:① 砺波市内で想定される災害

②防災対策

③ 避難所設営体験(仮設トイレ・就寝場所)



講義 就寝場所の設営体験



仮設トイレの設営体験

砺波市

| カテゴリ | 住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 |
|------|-------------------------------------|
| 内 容 | 住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施 |
| 実施主体 | 砺波市•地区自主防災会 |

防災士が地区で行っている防災訓練に参加し、訓練指導や防災講座を行った。

【実施概要】

日時:平成28年9月4日(日)8:30~11:30(木下自治会)

平成28年10月30日(日)8:30~12:00(三郎丸自治会)

•参加者:地域住民 約140名(木下 約60名 三郎丸 約80名)

内容:①地区自主防災訓練

② 防災士による防災講座



防災訓練の風景



防災訓練の風景



防災士による講座

小矢部市

| カテゴリ | 水防団活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進 |
|------|----------------------------------|
| 内 容 | 水防団体の募集促進 |
| 実施主体 | 小矢部市 |

水防活動の担い手となる消防団への加入を促進するため、小矢部市消防団サポート事業を実施した。

【実施概要】

・日 時:平成28年10月1日から実施

内容:消防団への加入を促進するため、市内事業者に消防団員に対するサービスの提供を

依頼。

H29.1.20現在 52事業者が登録



サポート店募集チラシ



サポート店表示証